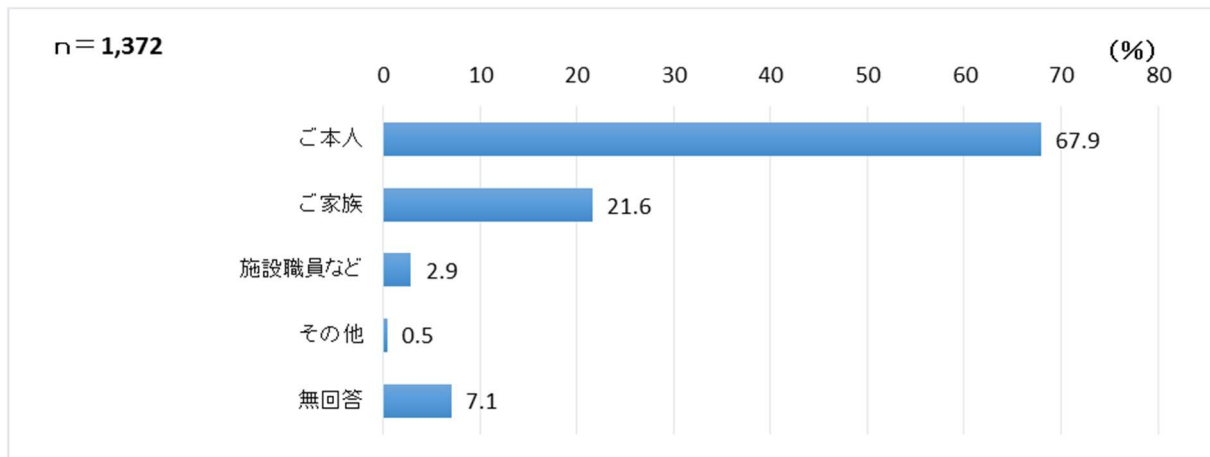

(仮称) 青森市障がい者計画策定に係るアンケート調査 集計結果

障がい者支援課

I はじめに

問 このアンケートにお答えいただけるかたはどなたですか。(単数回答)

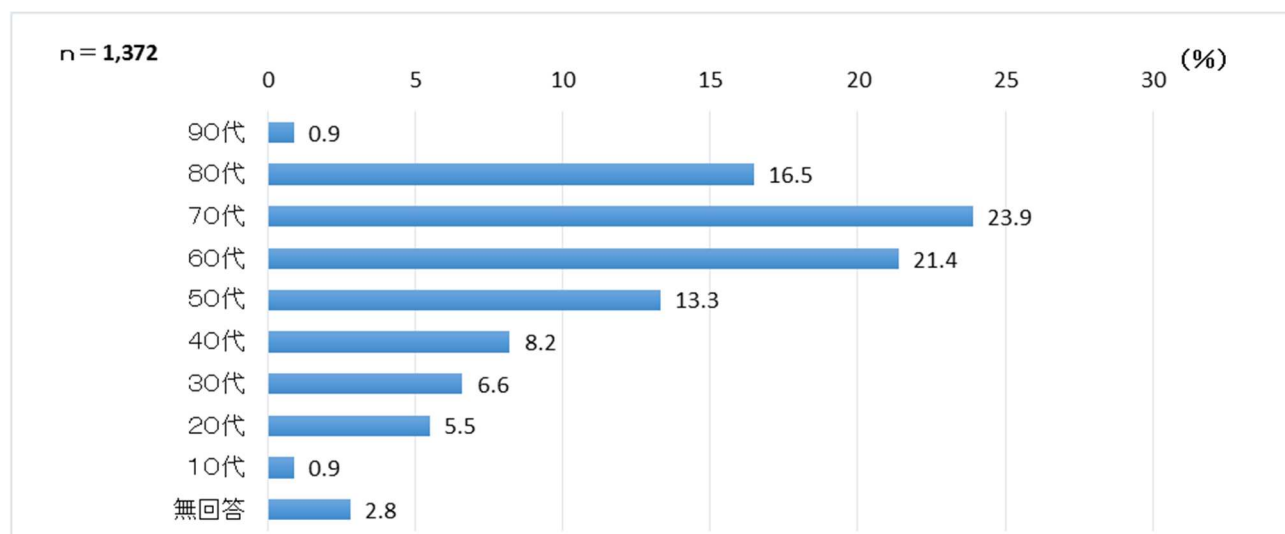


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	ご本人	67.9	74.0	50.4	73.5	23.9	52.6	33.3	33.3	33.3
2	ご家族	21.6	17.9	37.0	19.8	54.3	31.6	33.3	66.7	18.8
3	施設職員など	2.9	1.5	8.1	1.9	15.2	10.5	22.2	0.0	2.1
4	その他	0.5	0.3	0.0	1.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
5	無回答	7.1	6.3	4.4	3.1	4.3	5.3	11.1	0.0	45.8

- アンケートにお答えいただいた方全体では、「ご本人」と答えた方の割合が 67.9%と最も高く、次いで「ご家族」が 21.6%となっています。前回の調査では、「ご本人」と答えた方の割合が 46.7%でした。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「身体障がい・知的障がい」及び「知的障がい・精神障がい」、「身体障がい・知的障がい・精神障がい」の重複障がいでは、「ご家族」と答えた方の割合が「ご本人」を上回っています。

Ⅱ あなた（あて名のご本人）のことについておたずねします。

問1 あなたはおいくつですか。



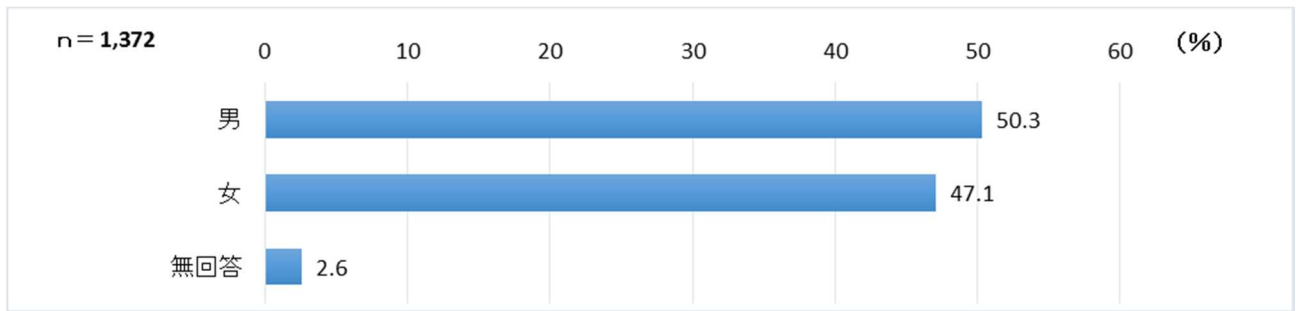
	全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
90代	0.9	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
80代	16.5	22.8	0.0	0.6	0.0	10.5	0.0	33.3	10.4
70代	23.9	30.5	3.0	9.3	4.3	36.8	0.0	33.3	18.8
60代	21.4	24.9	10.4	16.0	10.9	21.1	0.0	0.0	16.7
50代	13.3	11.5	12.6	27.8	13.0	15.8	11.1	33.3	0.0
40代	8.2	4.3	14.8	22.8	19.6	5.3	33.3	0.0	2.1
30代	6.6	2.2	23.0	13.6	28.3	5.3	11.1	0.0	4.2
20代	5.5	0.8	29.6	6.8	19.6	5.3	44.4	0.0	4.2
10代	0.9	0.0	5.9	1.9	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.8	1.7	0.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7

○年齢については、全体で「70代」と答えた方の割合が23.9%と最も高く、次いで「60代」が21.4%となっています。前回の調査と同様の結果となっています。

○障がいの種類別にみると、「知的障がい」では、「20代」と「30代」を合わせた割合が52.6%、「精神障がい」では、「40代」と「50代」を合わせた割合が50.6%となっています。また、「身体障がい・知的障がい」では、「30代」、「知的障がい・精神障がい」では、「20代」と答えた方の割合が44.4%と最も高くなっています。

障がいのある方用

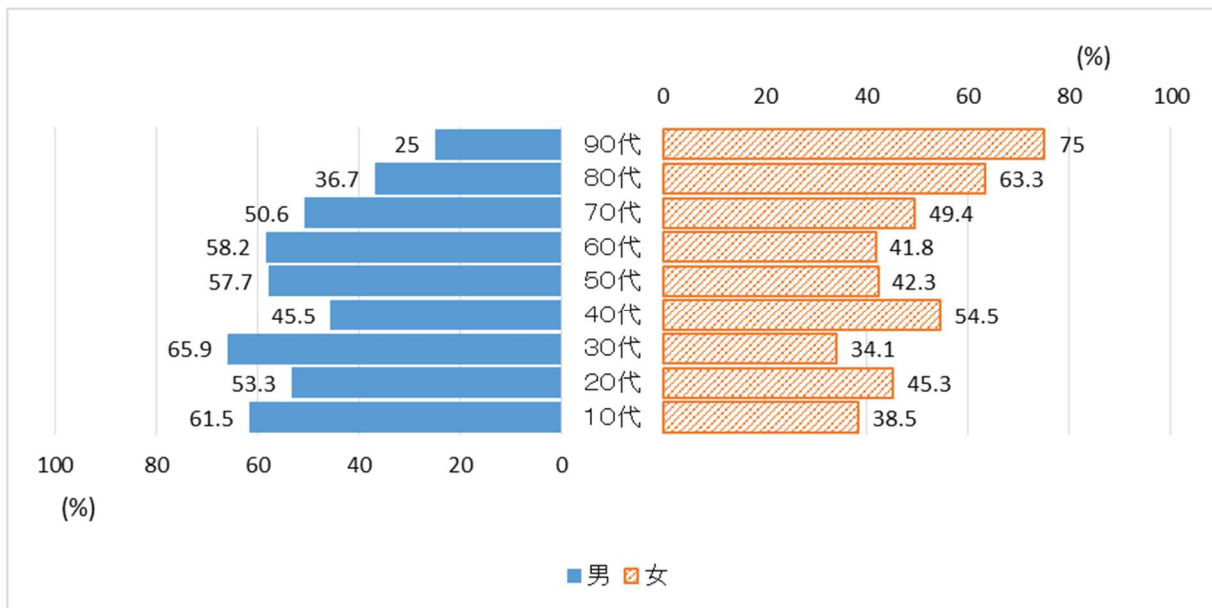
問2 あなたの性別はどちらですか。



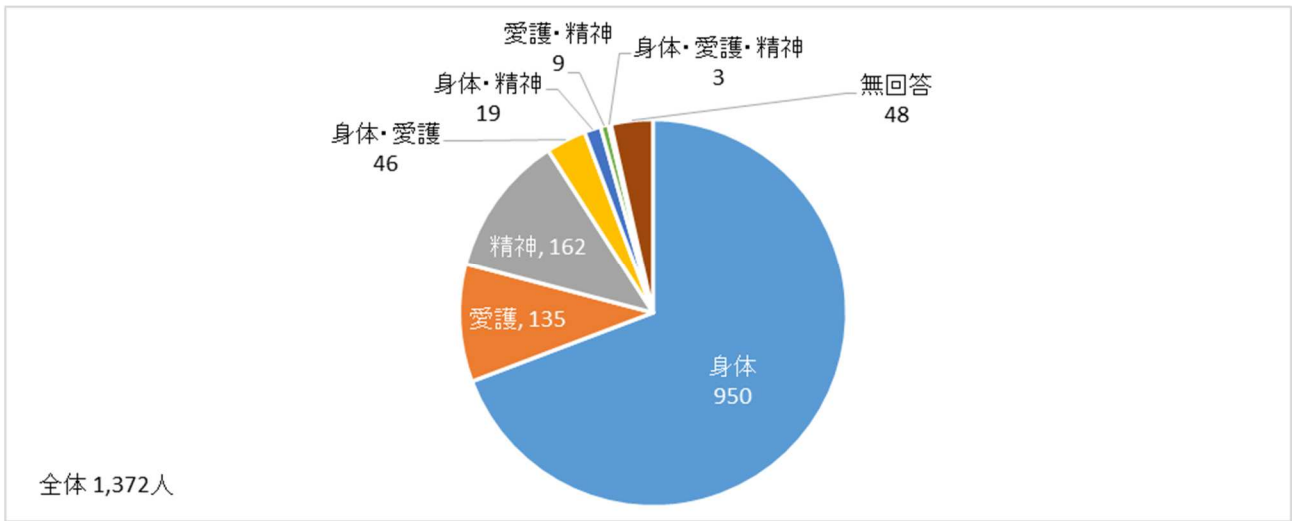
	全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
男	50.3	50.1	60.7	49.4	52.2	57.9	55.6	33.3	22.9
女	47.1	48.4	39.3	49.4	47.8	36.8	44.4	66.7	37.5
無回答	2.6	1.5	0.0	1.2	0.0	5.3	0.0	0.0	39.6

- 性別については、全体で「男」と答えた方の割合が 50.3%と最も高くなっています。前回の調査では、「女」50.3%、「男」48.1%でした。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい・知的障がい・精神障がい」では、「女」と答えた方の割合が 66.7%と高く、「精神障がい」では、男女の割合が同じとなっています。

【年代別男女の対比】

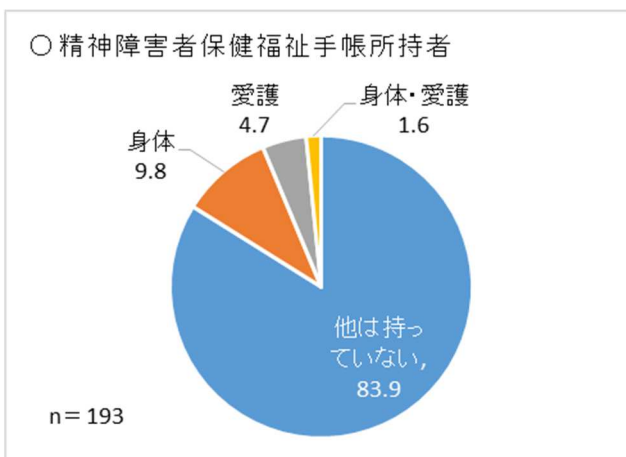
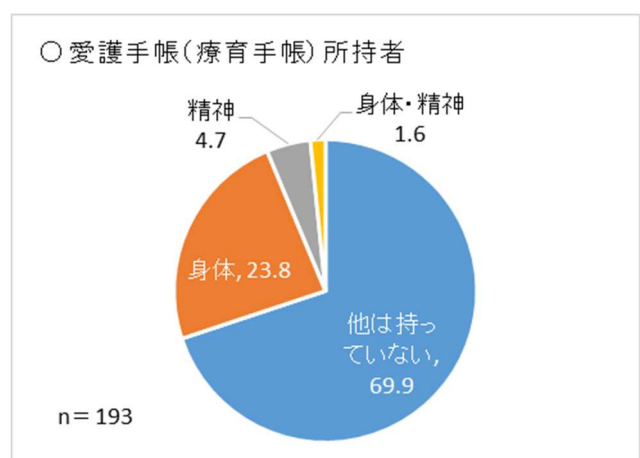
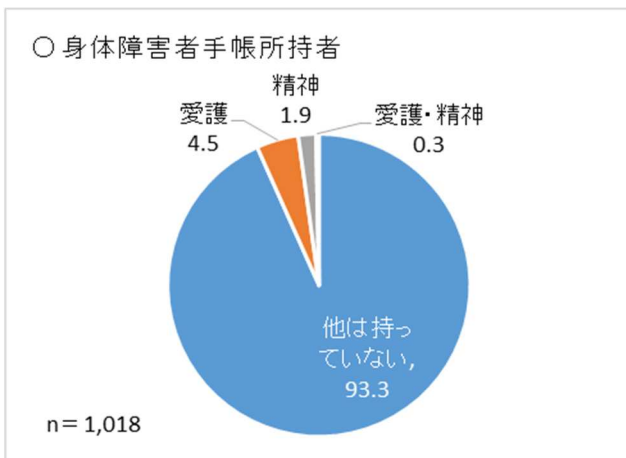


問3 あなたがお持ちの手帳の種類と等級を教えてください。(複数回答)



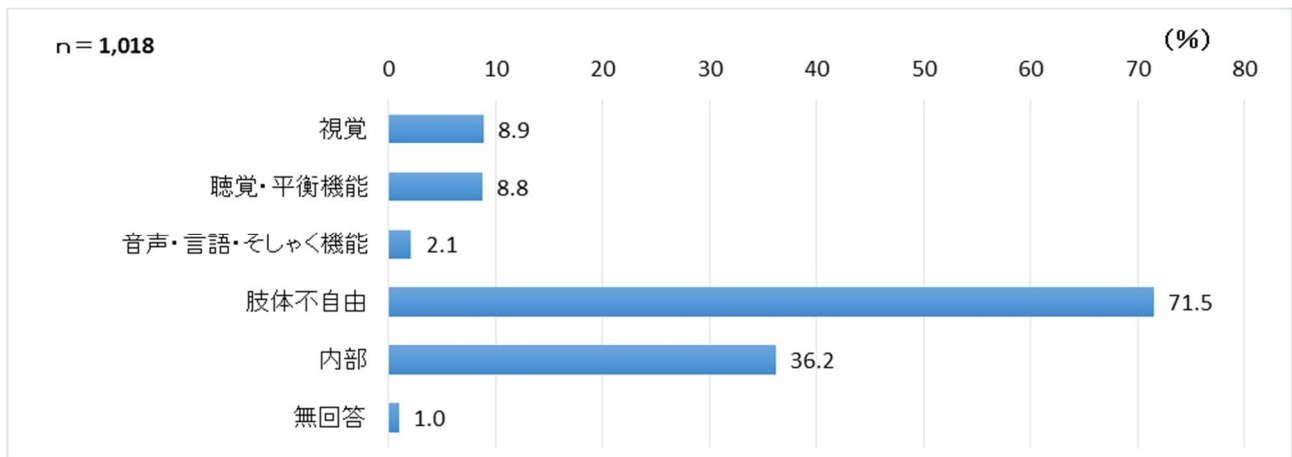
	全体	身体	愛護	精神	身体・愛護	身体・精神	愛護・精神	身体・愛護・精神	無回答
所持者数(人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48

【複数種類の手帳の所持状況】



障がいのある方用

1. 身体障がい者手帳所持者の内訳

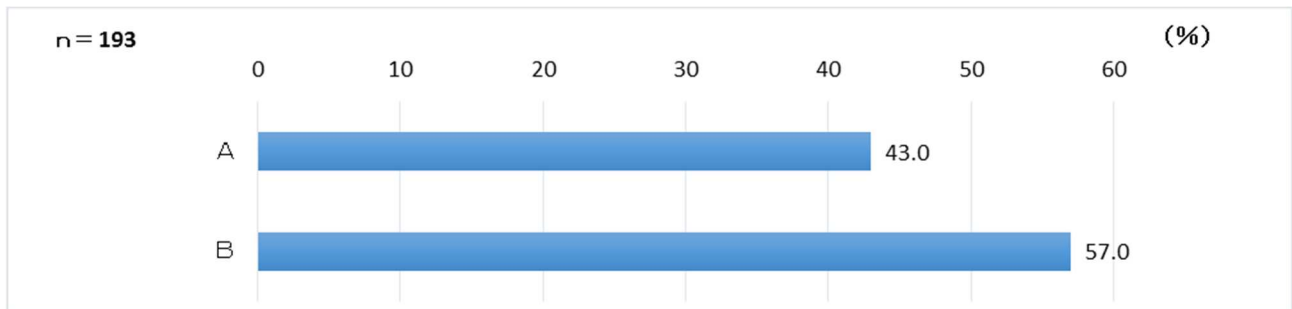


	全体(人)	視覚	聴覚・平衡機能	音声・言語・そしゃく機能	肢体不自由	内部	無回答
所持者数	1,018	8.9	8.8	2.1	71.5	36.2	1.0

○身体障がい者手帳所持者については、「肢体不自由」と答えた方の割合が71.5%と最も高く、次いで「内部」が36.2%となっています。前回の調査と同様の結果になっています。

障がい種別／等級	所持者数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	無回答
視覚障がい	91	31	24	8	9	8	8		3
聴覚障がい	83		31	11	14		27		0
平衡機能障がい	7			2		4			1
音声・言語・そしゃく機能障がい	21			10	10				1
上肢機能障がい	225	48	93	45	12	6	12	7	2
下肢機能障がい	448	69	70	100	156	25	13	8	7
体幹機能障がい	37	14	11	5		7			0
脳原性運動機能障がい	18	7	5	0	3	2	1	0	0
心臓機能障がい	241	179		41	19				2
じん臓機能障がい	70	55		13	2				0
呼吸器機能障がい	10	7		1	2				0
ぼうこう・直腸機能障がい	42	1		3	36				2
小腸機能障がい	3	0		0	2				1
HIVによる免疫機能障がい	2	1	0	1	0				0
肝臓機能障がい	1	1	0	0	0				0
無回答	10	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,309	413	234	240	265	52	61	15	19

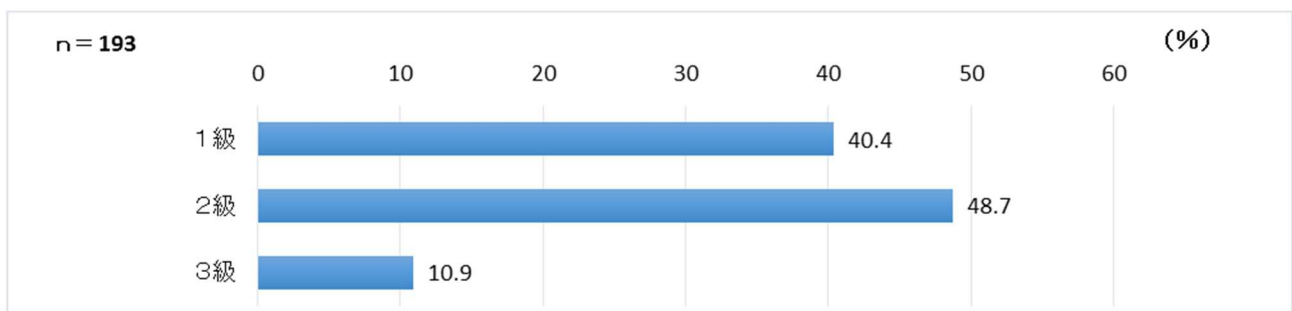
2. 愛護手帳（療育手帳）所持者の内訳



	全体(人)	A	B
所持者	193	43.0	57.0

○愛護手帳（療育手帳）所持者については、「B」と答えた方の割合が57.0%、「A」が43.0%となっています。前回の調査と同様の結果になっています。

3. 精神障がい者保健福祉手帳所持者の内訳

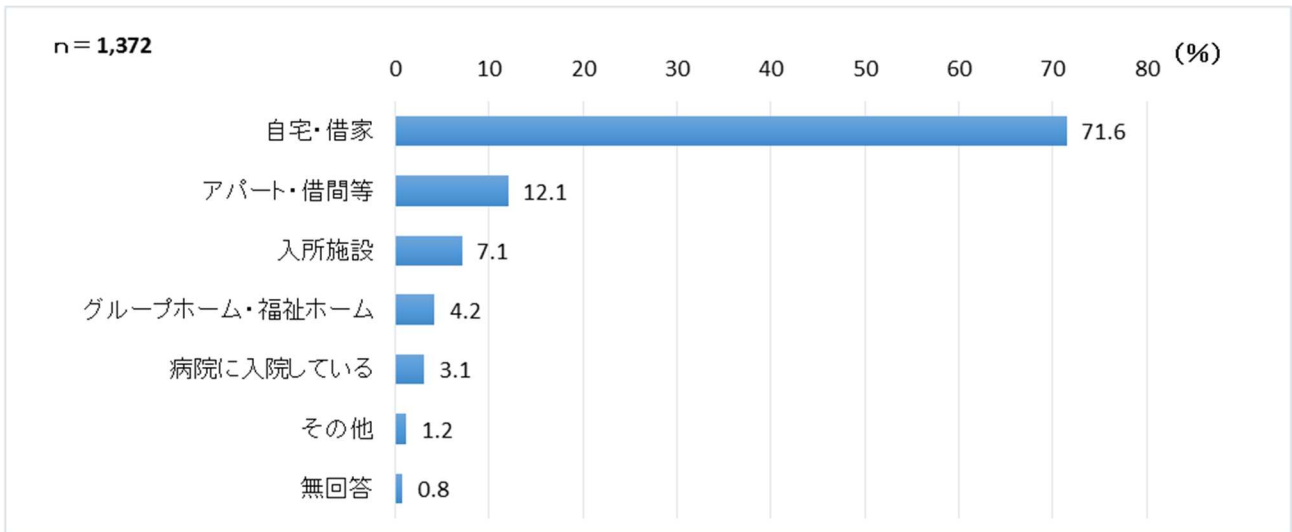


	全体(人)	1級	2級	3級
所持者	193	40.4	48.7	10.9

○精神障がい者保健福祉手帳所持者については、「2級」と答えた方の割合が48.7%と最も高く、次いで「1級」が40.4%となっています。前回の調査と同様の結果になっています。

Ⅲ 日常生活の状況

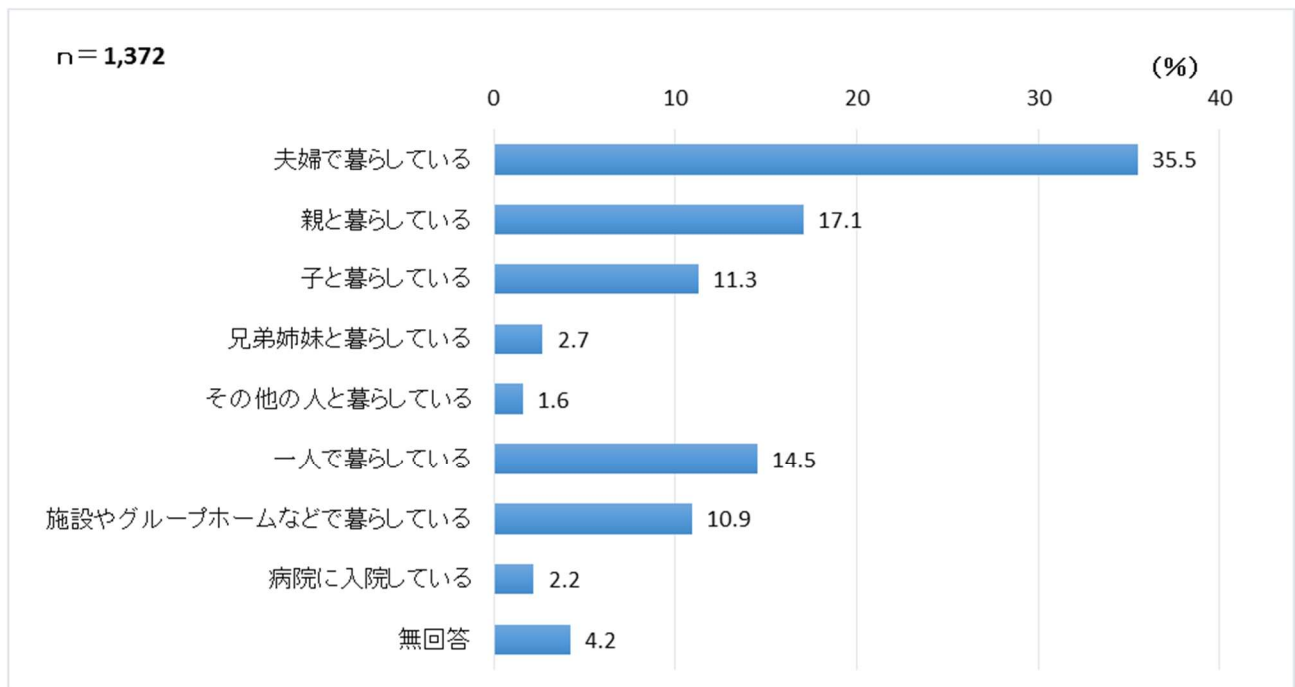
問4 あなたは現在どちらにお住まいですか。(単数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	自宅・借家	71.6	78.0	58.5	64.8	47.8	31.6	22.2	66.7	52.1
2	アパート・借間等	12.1	10.8	9.6	18.5	8.7	36.8	33.3	0.0	12.5
3	入所施設	7.1	5.5	11.9	4.3	30.4	5.3	22.2	0.0	12.5
4	グループホーム・福祉ホーム	4.2	2.1	17.0	3.1	6.5	10.5	11.1	0.0	6.3
5	病院に入院している	3.1	1.8	2.2	8.6	6.5	10.5	11.1	33.3	2.1
6	その他	1.2	1.2	0.7	0.6	0.0	5.3	0.0	0.0	4.2
7	無回答	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.4

- 現在の住まいについては、全体で「自宅・借家」と答えた方の割合が 71.6%と最も高くなっています。前回の調査と同様の結果となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「身体障がい・精神障がい」及び「知的障がい・精神障がい」では、「アパート・借間等」と答えた方の割合が最も高くなっています。

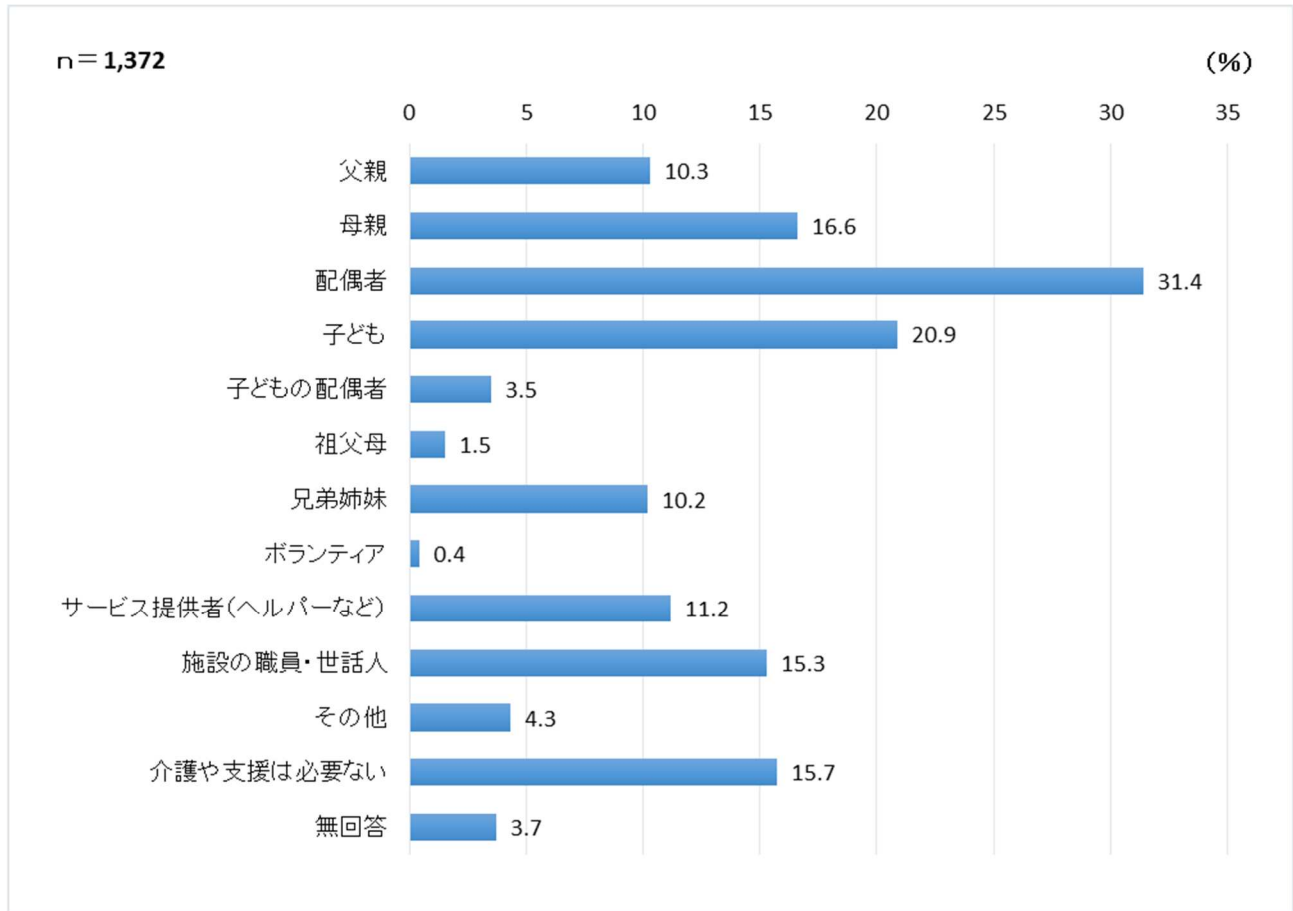
問5 あなたは普段どなたと暮らしていますか。(単数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	夫婦で暮らしている	35.5	46.0	2.2	15.4	4.3	21.1	0.0	0.0	33.3
2	親と暮らしている	17.1	6.3	51.9	45.1	47.8	0.0	33.3	33.3	12.5
3	子と暮らしている	11.3	15.6	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
4	兄弟姉妹と暮らしている	2.7	2.1	8.9	1.2	4.3	0.0	0.0	0.0	2.1
5	その他の人と暮らしている	1.6	1.7	0.7	0.6	2.2	5.3	0.0	0.0	4.2
6	一人で暮らしている	14.5	15.5	4.4	19.1	0.0	42.1	11.1	33.3	10.4
7	施設やグループホームなどで暮らしている	10.9	7.2	27.4	7.4	37.0	15.8	33.3	33.3	16.7
8	病院に入院している	2.2	0.9	3.0	6.8	4.3	10.5	11.1	0.0	2.1
9	無回答	4.2	4.7	1.5	1.9	0.0	5.3	11.1	0.0	12.5

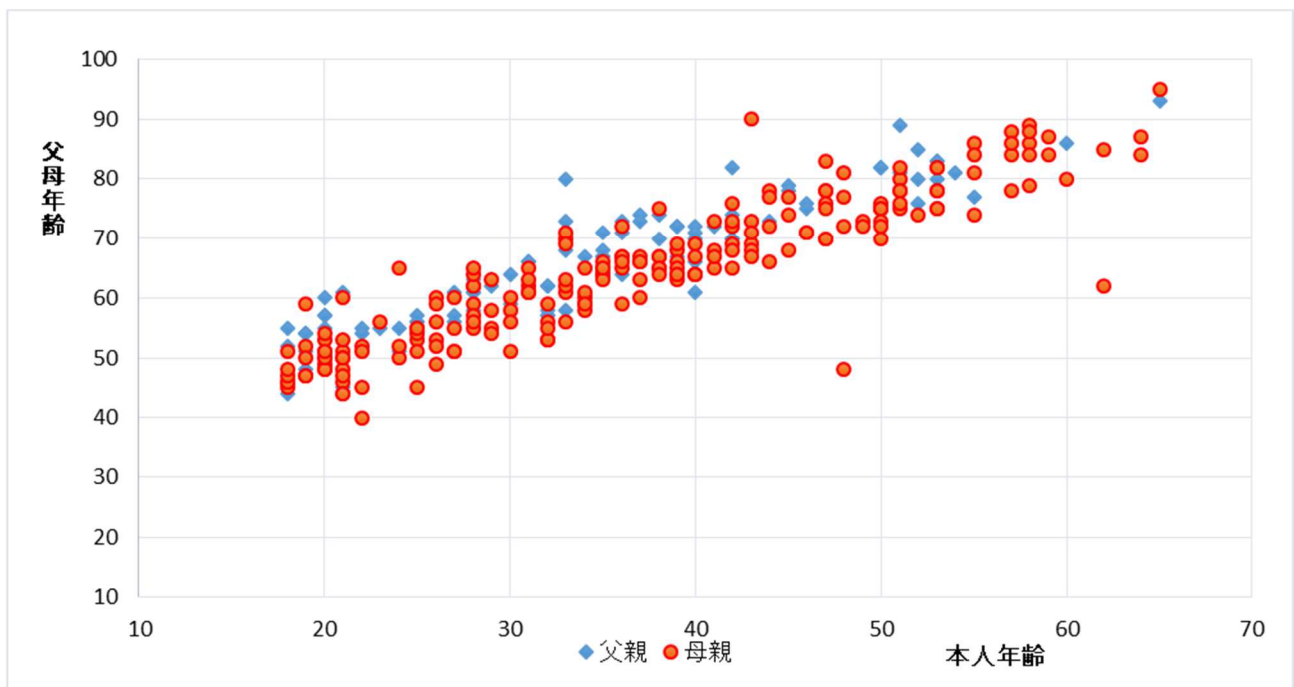
- 一緒に暮らしている方については、全体で「夫婦で暮らしている」と答えた方の割合が 35.5%と最も高くなっています。
- 前回の調査では、「子と暮らしている」と答えた方の割合が 26.6%でしたが、今回の調査では 11.3%に減っています。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」では、「夫婦で暮らしている」と答えた方の割合が最も高く、「知的障がい」「身体障がい・知的障がい」では、「親と暮らしている」と答えた方の割合が最も高く、次いで「施設やグループホームなどで暮らしている」が高くなっています。

問6 あなたの介助や支援をしている人はどなたですか。(複数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	父親	10.3	2.6	42.2	24.7	28.3	5.3	44.4	0.0	4.2
2	母親	16.6	4.9	55.6	42.6	58.7	5.3	33.3	33.3	10.4
3	配偶者	31.4	40.0	2.2	16.0	2.2	36.8	0.0	33.3	27.1
4	子ども	20.9	27.5	0.7	6.8	0.0	10.5	0.0	0.0	25.0
5	子どもの配偶者	3.5	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
6	祖父母	1.5	0.7	6.7	1.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
7	兄弟姉妹	10.2	6.9	22.2	16.0	17.4	15.8	11.1	0.0	12.5
8	ボランティア	0.4	0.2	0.7	0.6	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
9	サービス提供者(ヘルパーなど)	11.2	11.6	5.9	8.0	8.7	31.6	11.1	33.3	20.8
10	施設の職員・世話人	15.3	8.9	45.2	15.4	43.5	5.3	66.7	33.3	22.9
11	その他	4.3	4.2	2.2	3.7	8.7	15.8	22.2	0.0	2.1
12	介護や支援は必要ない	15.7	18.9	3.0	14.8	2.2	10.5	0.0	0.0	8.3
13	無回答	3.7	4.4	1.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	12.5

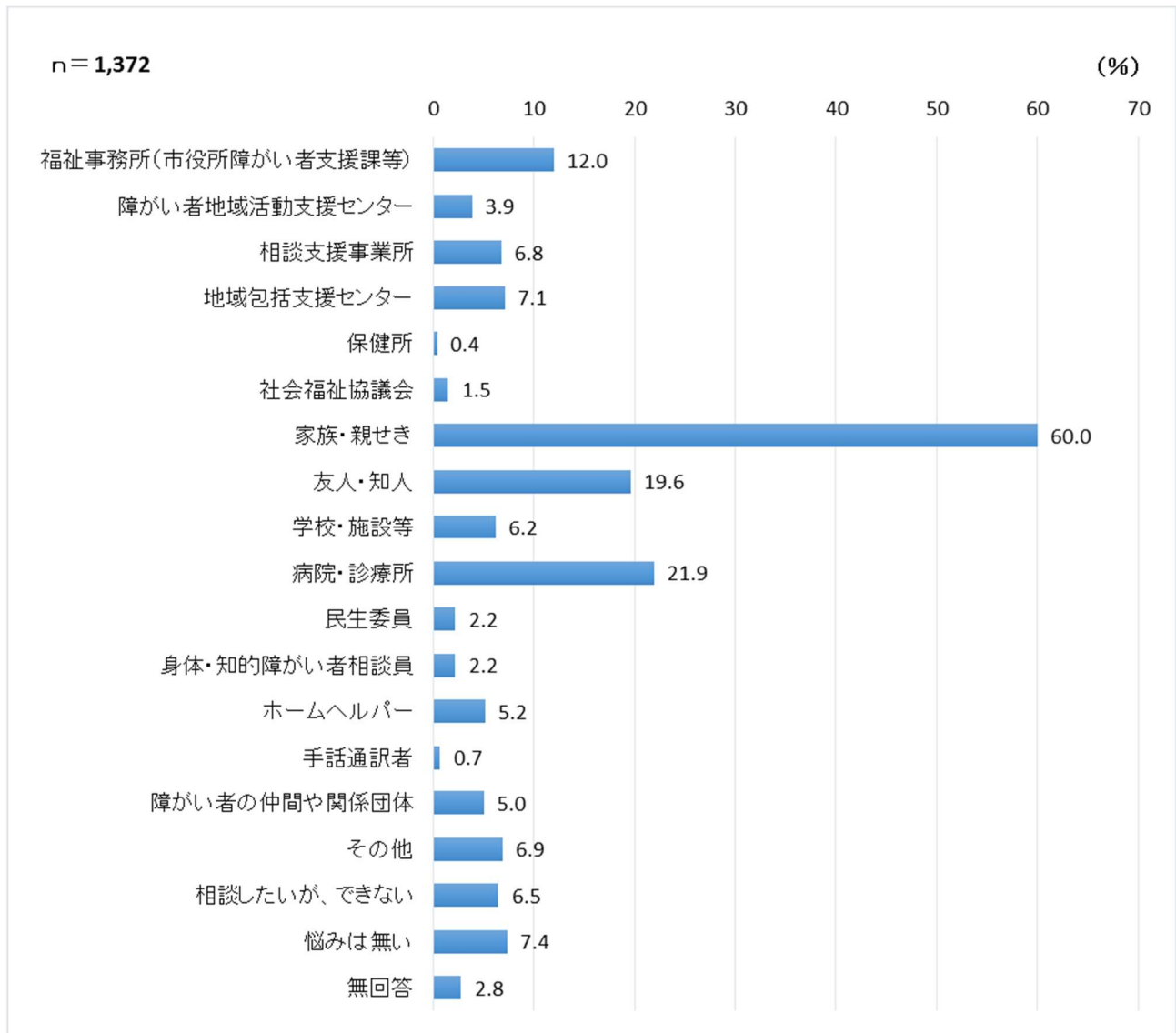
【介護や支援をしている父母の年齢分布】



- 介助や支援をしている方については、全体では、「配偶者」と答えた方の割合が 31.4%と最も高く、次いで「子ども」が 20.9%となっています。前回の調査と同様の結果となっています。
- 障がいの種類別にみると、「知的障がい」及び「精神障がい」、「身体障がい・知的障がい」では、「母親」と答えた方の割合が最も高く、「知的障がい・精神障がい」では、「施設の職員・世話人」と答えた方の割合が最も高くなっています。

障がいのある方用

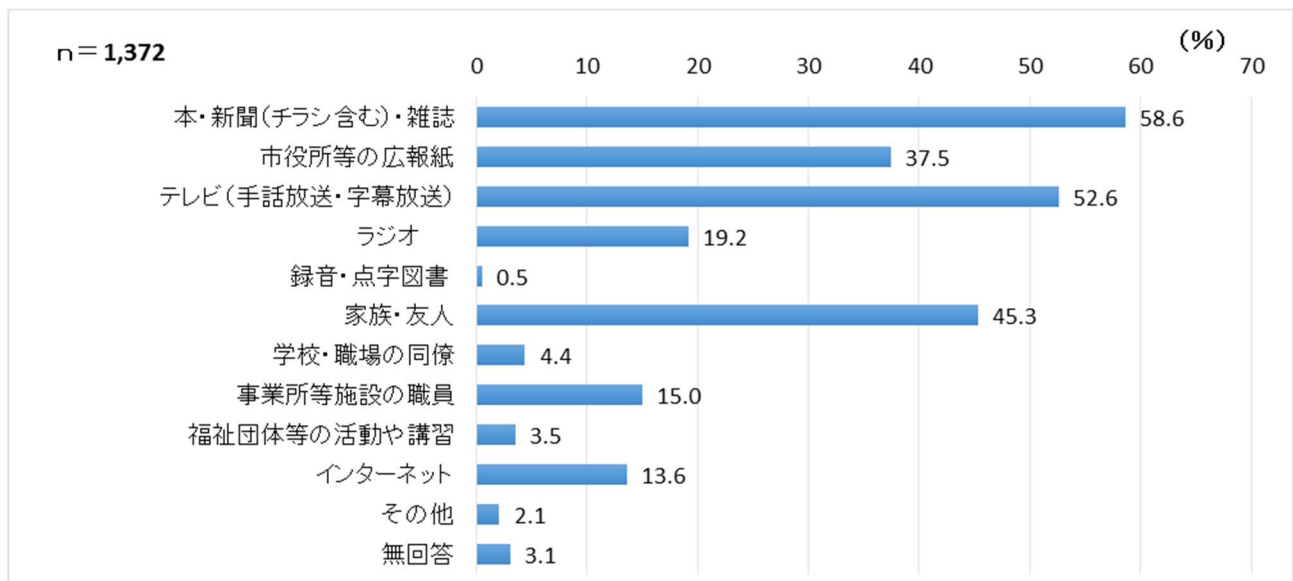
問7 相談相手についてうかがいます。あなたは悩みや困ったことをだれに相談しますか。(複数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	福祉事務所（市役所障がい者支援課等）	12.0	11.7	11.9	11.1	19.6	31.6	11.1	0.0	8.3
2	障がい者地域活動支援センター	3.9	2.1	8.9	8.6	10.9	5.3	11.1	0.0	0.0
3	相談支援事業所	6.8	3.4	16.3	9.9	39.1	15.8	11.1	0.0	2.1
4	地域包括支援センター	7.1	8.4	3.7	1.9	8.7	5.3	0.0	33.3	6.3
5	保健所	0.4	0.4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	社会福祉協議会	1.5	1.5	0.0	1.2	6.5	0.0	0.0	0.0	4.2
7	家族・親せき	60.0	62.1	60.7	54.9	52.2	52.6	44.4	33.3	47.9
8	友人・知人	19.6	20.9	14.8	20.4	17.4	10.5	22.2	0.0	10.4
9	学校・施設等	6.2	2.7	23.7	3.1	34.8	0.0	33.3	0.0	6.3
10	病院・診療所	21.9	20.1	7.4	46.9	13.0	26.3	33.3	0.0	18.8
11	民生委員	2.2	2.4	0.7	1.2	2.2	0.0	0.0	33.3	4.2
12	身体・知的障がい者相談員	2.2	1.6	5.9	0.6	10.9	0.0	0.0	0.0	2.1
13	ホームヘルパー	5.2	5.6	2.2	3.7	2.2	15.8	11.1	33.3	8.3
14	手話通訳者	0.7	0.7	0.0	0.0	2.2	5.3	0.0	0.0	0.0
15	障がい者の仲間や関係団体	5.0	2.8	11.1	11.1	10.9	0.0	11.1	0.0	4.2
16	その他	6.9	6.2	6.7	9.9	6.5	10.5	0.0	0.0	10.4
17	相談したいが、できない	6.5	5.9	8.9	8.0	4.3	21.1	22.2	0.0	0.0
18	悩みは無い	7.4	8.6	3.0	4.3	4.3	5.3	0.0	0.0	12.5
19	無回答	2.8	2.4	3.0	1.2	4.3	5.3	0.0	0.0	14.6

- 相談相手については、全体で「家族・親せき」と答えた方の割合が60.0%と最も高く、次いで「病院・診療所」が21.9%となっています。前回の調査と同様の結果となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「身体障がい」では、「家族・親せき」に次いで「友人・知人」と答えた方の割合が高く、「知的障がい」及び「身体障がい・知的障がい」では、「家族・親せき」に次いで「相談支援事業所」と答えた方の割合が高くなっています。

問8 あなたはさまざまな情報をどのようにして得ていますか。(複数回答)

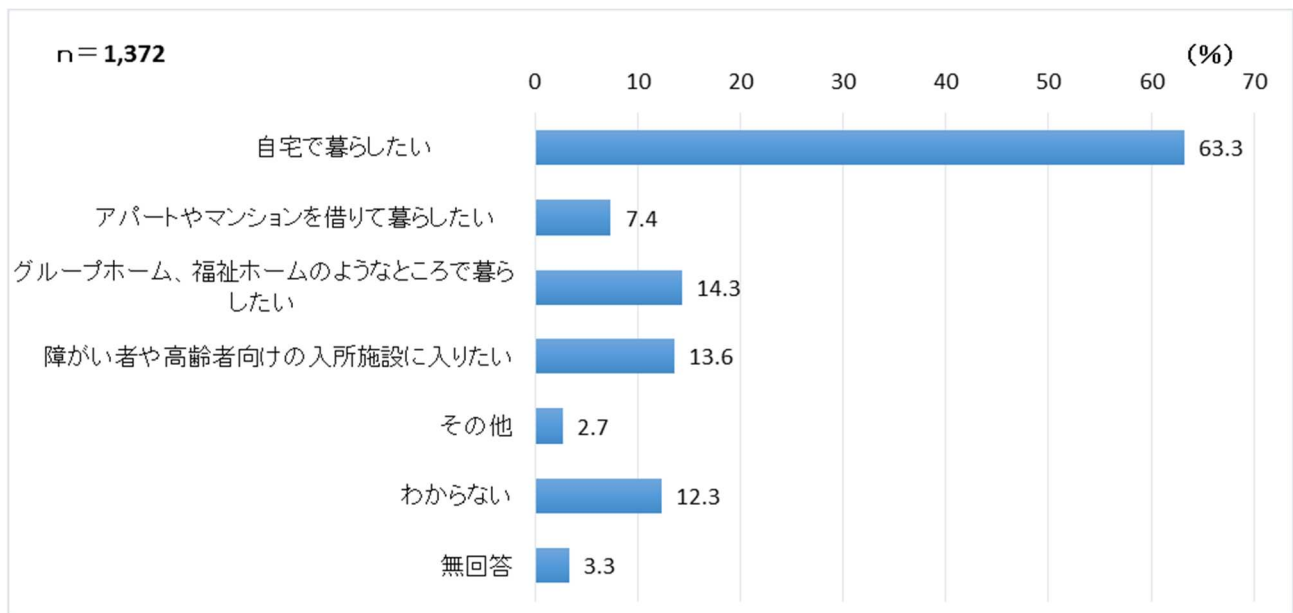


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	本・新聞(チラシ含む)・雑誌	58.6	64.2	35.6	57.4	34.8	47.4	55.6	33.3	45.8
2	市役所等の広報紙	37.5	44.7	14.1	28.4	15.2	36.8	11.1	33.3	16.7
3	テレビ(手話放送・字幕放送)	52.6	54.2	48.9	54.3	41.3	52.6	33.3	0.0	43.8
4	ラジオ	19.2	21.5	11.9	18.5	6.5	21.1	33.3	33.3	6.3
5	録音・点字図書	0.5	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	家族・友人	45.3	46.8	42.2	42.6	37.0	47.4	66.7	33.3	35.4
7	学校・職場の同僚	4.4	3.7	9.6	4.9	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0
8	事業所等施設の職員	15.0	9.3	42.2	14.2	50.0	10.5	44.4	0.0	18.8
9	福祉団体等の活動や講習	3.5	3.3	5.9	3.1	6.5	5.3	0.0	0.0	0.0
10	インターネット	13.6	12.6	14.1	23.5	8.7	5.3	22.2	0.0	6.3
11	その他	2.1	1.2	3.7	4.9	6.5	0.0	11.1	0.0	2.1
12	無回答	3.1	2.5	5.2	1.2	8.7	0.0	0.0	33.3	8.3

○情報をどのように得ているかについては、全体で「本・新聞・雑誌」と答えた方の割合が58.6%と最も高く、次いで「テレビ」が52.6%となっています。前回の調査では、「テレビ」と答えた方の割合が74.7%と最も高く、次いで「一般図書・新聞・雑誌」が44.8%でした。

○障がいの種類別にみると、「身体障がい」及び「精神障がい」では、「全体」と同様の傾向がみられますが、「知的障がい」及び「身体障がい・精神障がい」では、「テレビ」と答えた方、「身体障がい・知的障がい」では、「事業所等施設の職員」と答えた方、「知的障がい・精神障がい」では、「家族・友人」と答えた方の割合が最も高くなっています。

問9 あなたは将来、どのような暮らしを望んでいますか。(複数回答)

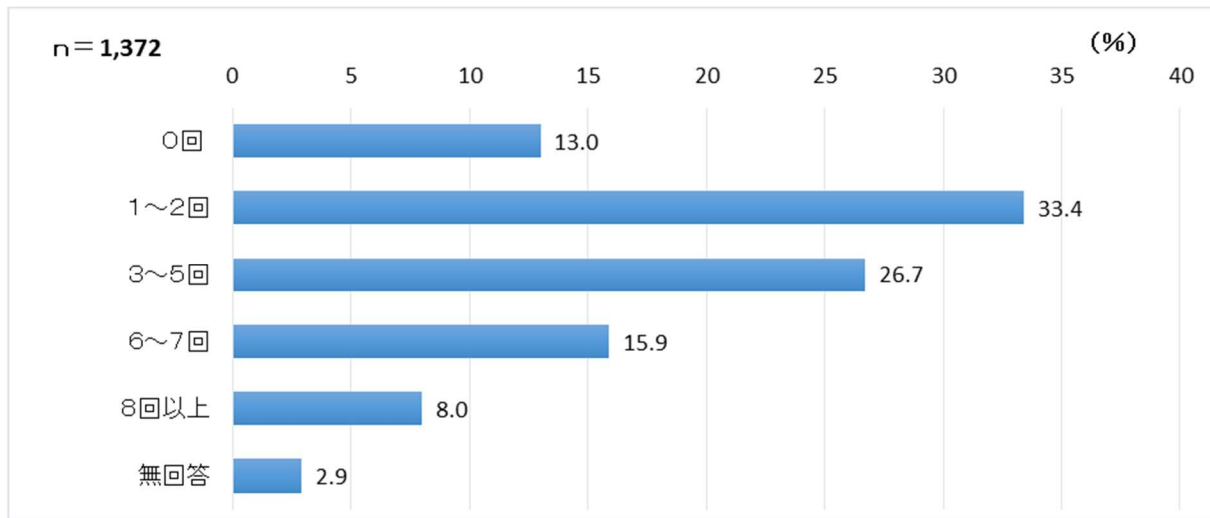


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	自宅で暮らしたい	63.3	69.8	51.1	48.1	37.0	57.9	22.2	66.7	54.2
2	アパートやマンションを借りて暮らしたい	7.4	4.5	11.1	22.2	6.5	5.3	11.1	0.0	4.2
3	グループホーム、福祉ホームのようなところで暮らしたい	14.3	12.2	28.1	11.7	23.9	21.1	11.1	33.3	12.5
4	障がい者や高齢者向けの入所施設に入りたい	13.6	12.4	19.3	9.9	34.8	15.8	22.2	0.0	12.5
5	その他	2.7	2.4	1.5	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
6	わからない	12.3	10.8	14.8	17.3	13.0	10.5	33.3	0.0	14.6
7	無回答	3.3	2.9	1.5	1.9	6.5	5.3	0.0	0.0	16.7

○どのような暮らしを望んでいるかについては、全体で「自宅で暮らしたい」と答えた方の割合が63.3%と最も高く、次いで「グループホーム、福祉ホームのようなところで暮らしたい」が14.3%となっています。

○障がいの種類別においても、「全体」と同様の傾向がみられますが、「知的障がい・精神障がい」では、「自宅で暮らしたい」及び「障がい者や高齢者向けの入所施設に入りたい」と答えた方の割合が22.2%と最も高くなっています。また、「身体障がい・知的障がい」では、「自宅で暮らしたい」と答えた方の割合が37.0%と最も高く、次いで「障がい者や高齢者向けの入所施設に入りたい」が34.8%となっています。

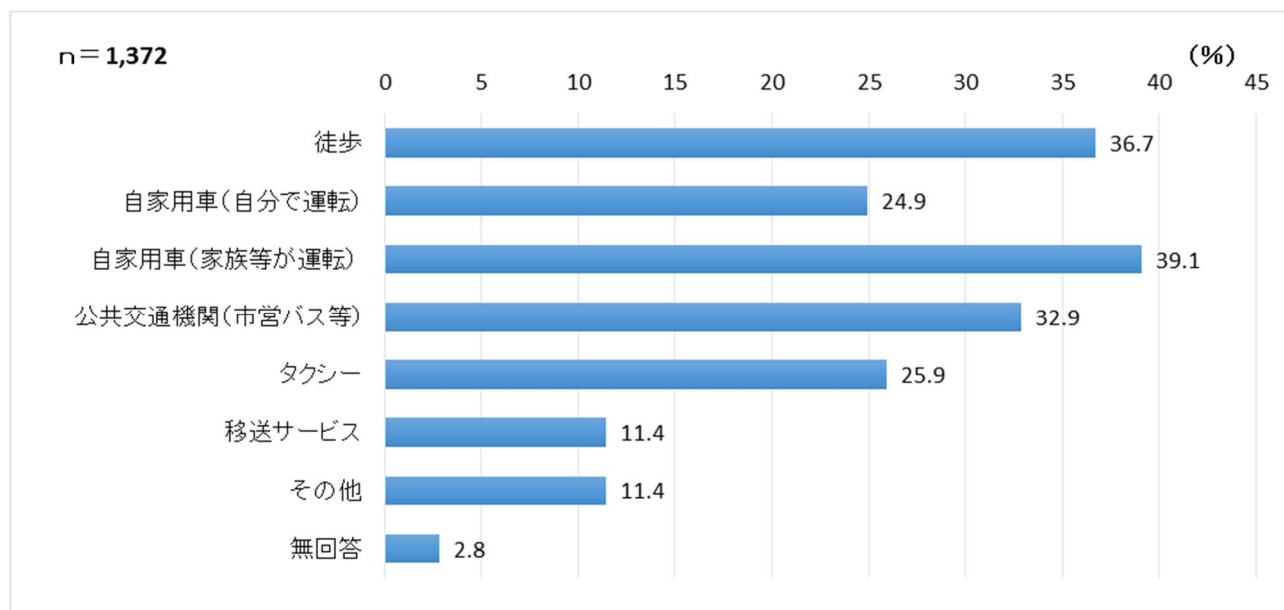
問10 外出についてうかがいます。あなたは1週間に何回ぐらい外出しますか。(単数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	0回	13.0	12.6	9.6	14.2	19.6	26.3	33.3	33.3	10.4
2	1~2回	33.4	31.9	43.7	34.6	23.9	31.6	33.3	0.0	41.7
3	3~5回	26.7	28.9	17.8	24.1	17.4	26.3	0.0	33.3	31.3
4	6~7回	15.9	15.4	19.3	15.4	26.1	15.8	22.2	33.3	6.3
5	8回以上	8.0	9.2	4.4	8.6	4.3	0.0	11.1	0.0	0.0
6	無回答	2.9	2.0	5.2	3.1	8.7	0.0	0.0	0.0	10.4

- 外出の頻度については、全体で「1~2回」と答えた方の割合が33.4%と最も高く、次いで「3~5回」が26.7%となっています。前回の調査と同様の結果でした。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい・知的障がい」では、「6~7回」と答えた方の割合が26.1%と最も高く、「知的障がい・精神障がい」では、「0回」及び「1~2回」と答えた方の割合が33.3%と最も高くなっています。

問 1 1 移動手段は何を利用していますか。(複数回答)

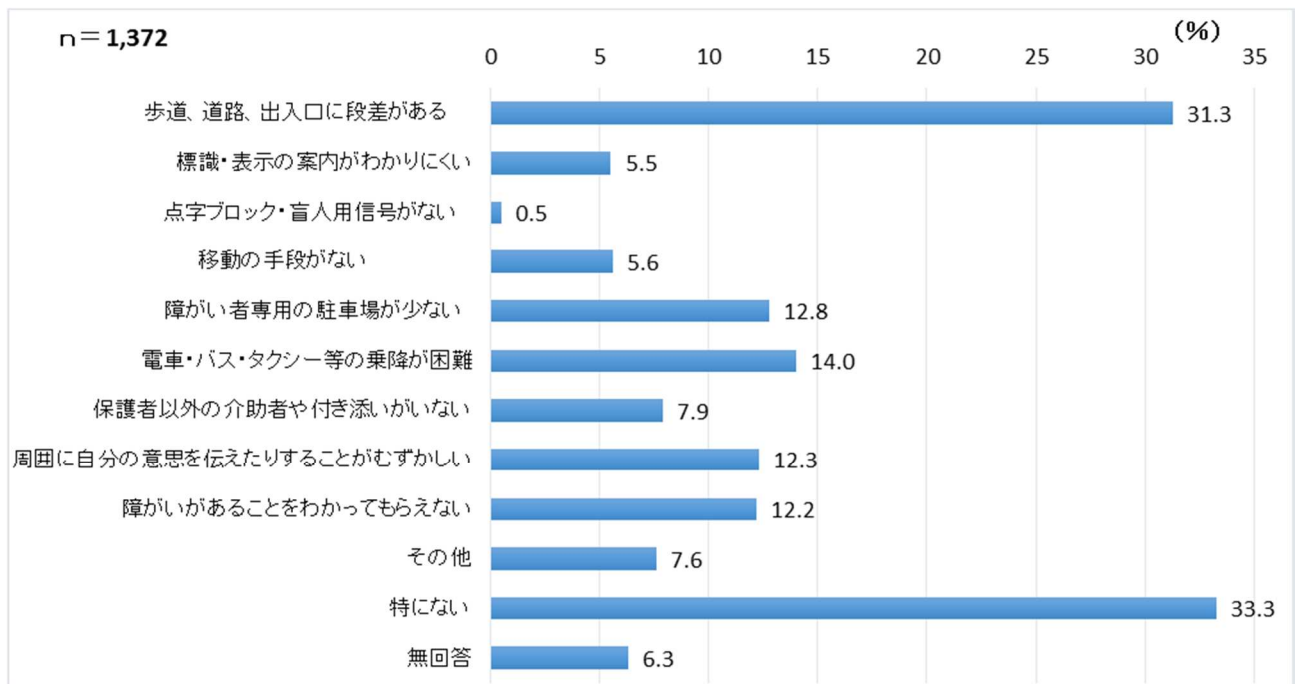


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	徒歩	36.7	34.0	45.2	51.2	26.1	21.1	66.7	33.3	27.1
2	自家用車 (自分で運転)	24.9	31.6	4.4	16.7	4.3	10.5	0.0	0.0	10.4
3	自家用車 (家族等が運転)	39.1	38.8	47.4	32.7	58.7	26.3	33.3	0.0	33.3
4	公共交通機関 (市営バス等)	32.9	31.5	45.2	38.9	21.7	21.1	55.6	33.3	18.8
5	タクシー	25.9	30.2	8.1	20.4	15.2	15.8	22.2	100.0	20.8
6	移送サービス	11.4	10.6	11.1	9.3	21.7	21.1	11.1	33.3	20.8
7	その他	11.4	8.3	22.2	19.8	17.4	5.3	33.3	0.0	6.3
8	無回答	2.8	2.6	1.5	3.7	4.3	5.3	0.0	0.0	6.3

○移動手段については、全体で「自家用車 (家族等が運転)」と答えた方の割合が 39.1%と最も高く、次いで「徒歩」が 36.7%となっています。前回の調査では、「自家用車 (家族等が運転)」と答えた方の割合が 38.4%と最も高く、次いで「市営バス」が 34.5%でした。

○障がいの種類別にみると、「精神障がい」及び「知的障がい・精神障がい」では、「徒歩」と答えた方の割合が最も高く、「身体障がい・知的障がい・精神障がい」では、「タクシー」と答えた方の割合が最も高くなっています。

問 1 2 外出時に不便に感じることは何ですか。(複数回答)



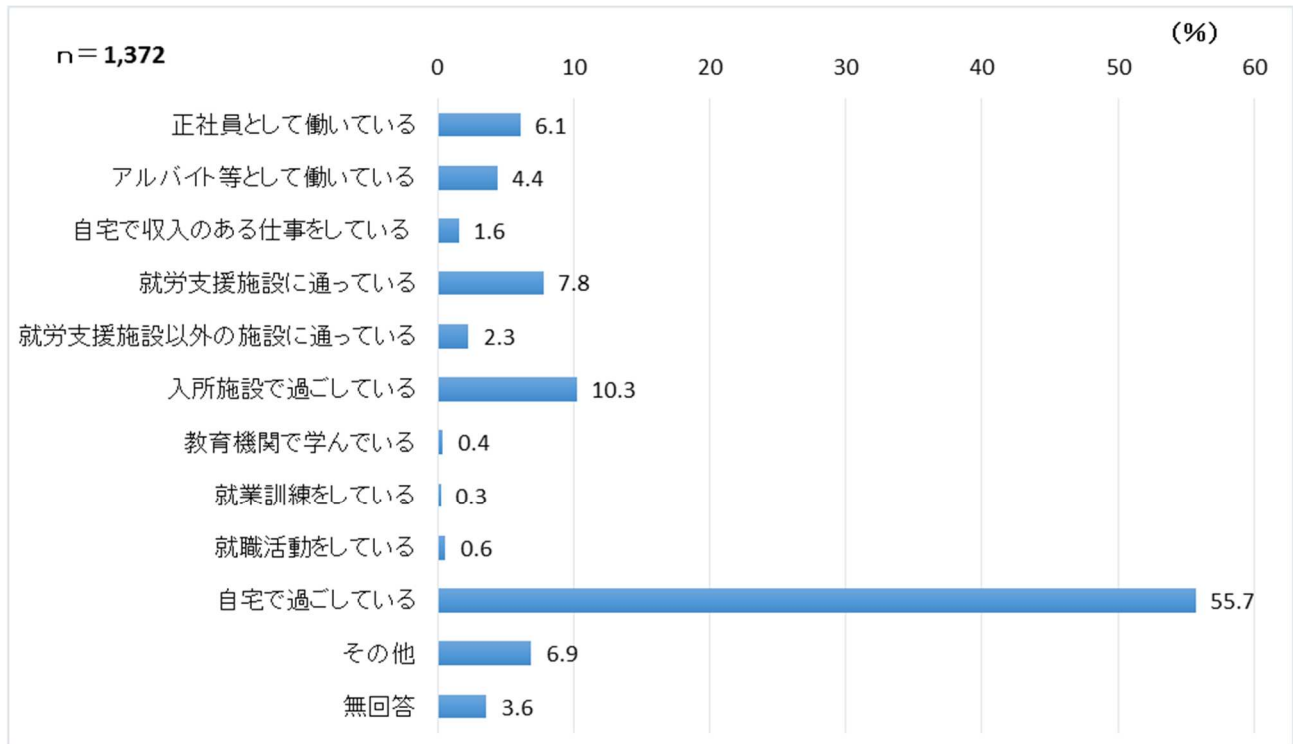
		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	歩道、道路、出入口に段差がある	31.3	36.5	8.9	13.0	54.3	42.1	0.0	100.0	27.1
2	標識・表示の案内がわかりにくい	5.5	5.5	7.4	4.9	4.3	5.3	0.0	0.0	4.2
3	点字ブロック・盲人用信号がない	0.5	0.5	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.1
4	移動の手段がない	5.6	6.2	1.5	5.6	8.7	5.3	0.0	0.0	4.2
5	障がい者専用の駐車場が少ない	12.8	15.6	5.2	3.1	19.6	10.5	0.0	33.3	8.3
6	電車・バス・タクシー等の乗降が困難	14.0	15.9	5.9	7.4	28.3	15.8	11.1	0.0	8.3
7	保護者以外の介助者や付き添いがいない	7.9	7.5	8.9	6.8	10.9	21.1	11.1	33.3	6.3
8	周囲に自分の意思を伝えたりすることがむずかしい	12.3	7.1	37.0	21.6	17.4	15.8	22.2	33.3	6.3
9	障がいがあることをわかってもらえない	12.2	11.6	15.6	13.6	13.0	10.5	11.1	33.3	10.4
10	その他	7.6	7.5	4.4	9.9	8.7	15.8	22.2	0.0	4.2
11	特にない	33.3	32.9	35.6	40.7	15.2	21.1	22.2	0.0	35.4
12	無回答	6.3	6.1	5.2	4.9	8.7	0.0	11.1	0.0	16.7

○外出時に不便に感じることについては、全体で「特にない」と答えた方の割合が 33.3%と最も高く、

次いで「歩道、道路、出入口に段差がある」が31.3%となっています。前回の調査では、「歩道、道路、出入口に段差がある」が28.8%でした。

- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」及び「身体障がい・知的障がい」、「身体障がい・精神障がい」「身体障がい・知的障がい・精神障がい」では、「歩道、道路、出入口に段差がある」と答えた方の割合が最も高くなっています。また、「知的障がい」及び「知的障がい・精神障がい」では、「周囲に自分の意思を伝えたりすることがむずかしい」と答えた方の割合が最も高くなっています。

問 1 3 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(単数回答)



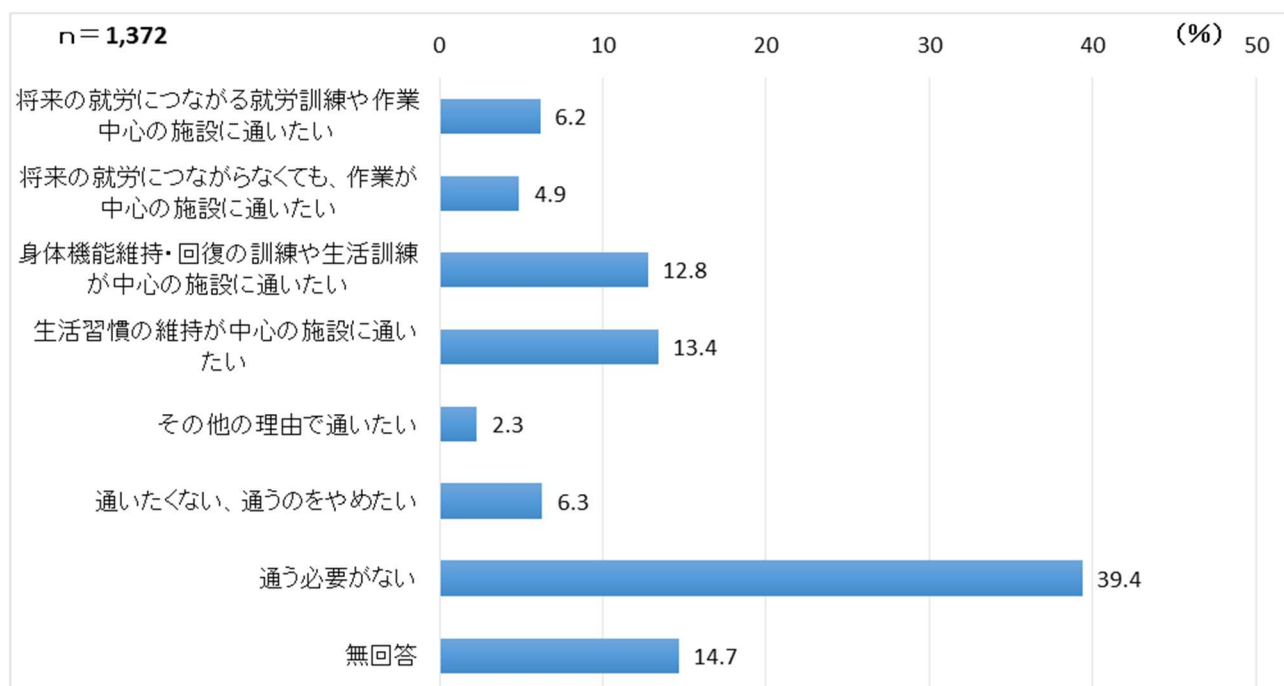
		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	正社員として働いている	6.1	7.6	6.7	1.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
2	アルバイト等として働いている	4.4	4.5	7.4	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	自宅で収入のある仕事をしている	1.6	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	就労支援施設に通っている	7.8	2.0	34.8	14.2	23.9	5.3	44.4	0.0	4.2
5	就労支援施設以外の施設に通っている	2.3	0.6	7.4	2.5	21.7	0.0	0.0	0.0	2.1
6	入所施設で過ごしている	10.3	7.7	17.8	8.6	28.3	21.1	33.3	33.3	18.8
7	教育機関で学んでいる	0.4	0.3	0.7	0.6	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
8	就業訓練をしている	0.3	0.2	0.0	0.6	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0
9	就職活動をしている	0.6	0.4	0.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10	自宅で過ごしている	55.7	63.7	17.0	54.9	13.0	57.9	11.1	33.3	58.3
11	その他	6.9	6.7	6.7	8.6	2.2	10.5	11.1	33.3	6.3
12	無回答	3.6	3.9	0.7	2.5	6.5	0.0	0.0	0.0	10.4

○平日の日中の過ごし方については、全体で「自宅で過ごしている」と答えた方の割合が 55.7%と最も

高く、次いで「入所施設で過ごしている」が 10.3%となっています。前回の調査と同様の結果でした。

- 障がいの種類別にみると、「知的障がい」及び「知的障がい・精神障がい」では、「就労支援施設に通っている」と答えた方の割合が最も高くなっています。また、「身体障がい・知的障がい」では、「入所施設で過ごしている」と答えた方の割合が 28.3%と最も高く、次いで「就労支援施設に通っている」が 23.9%となっています。

問 1 4 あなたは今後、施設に通いたい（通いつけたい）ですか。（単数回答）

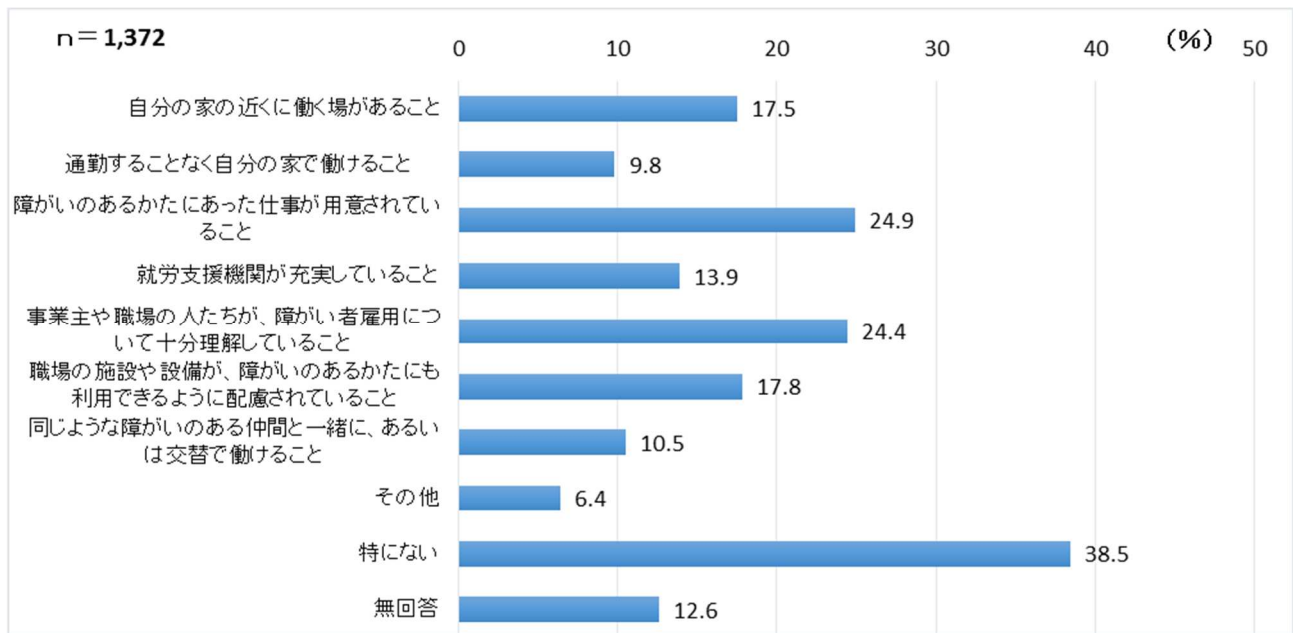


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	将来の就労につながる就労訓練や作業中心の施設に通いたい	6.2	1.9	24.4	16.0	4.3	0.0	22.2	0.0	8.3
2	将来の就労につながらなくても、作業が中心の施設に通いたい	4.9	2.4	13.3	8.0	15.2	5.3	33.3	0.0	4.2
3	身体機能維持・回復の訓練や生活訓練が中心の施設に通いたい	12.8	14.3	3.0	3.7	26.1	21.1	0.0	66.7	22.9
4	生活習慣の維持が中心の施設に通いたい	13.4	11.8	21.5	13.6	19.6	15.8	11.1	0.0	16.7
5	その他の理由で通いたい	2.3	2.2	2.2	2.5	2.2	10.5	11.1	0.0	0.0
6	通いたくない、通うのをやめたい	6.3	5.2	3.0	17.9	4.3	10.5	0.0	0.0	2.1
7	通う必要がない	39.4	46.2	23.7	28.4	6.5	31.6	11.1	33.3	25.0
8	無回答	14.7	16.0	8.9	9.9	21.7	5.3	11.1	0.0	20.8

- 施設に通いたい(通い続けたい) については、全体で「通う必要がない」と答えた方の割合が 39.4%と最も高く、次いで「生活習慣の維持が中心の施設に通いたい」が 13.4%となっています。
- 障がいの種類別にみると、「知的障がい」では、「将来の就労につながる就労訓練や作業中心の施設に通いたい」と答えた方の割合が最も高く、「身体障がい・知的障がい」及び「身体障がい・知的障がい・精神障がい」では、「身体機能維持・回復の訓練や生活訓練が中心の施設に通いたい」と答えた方の割合が最も高くなっています。

IV 就労について

問 1 5 働くために必要だと思うことは何ですか。(複数回答)

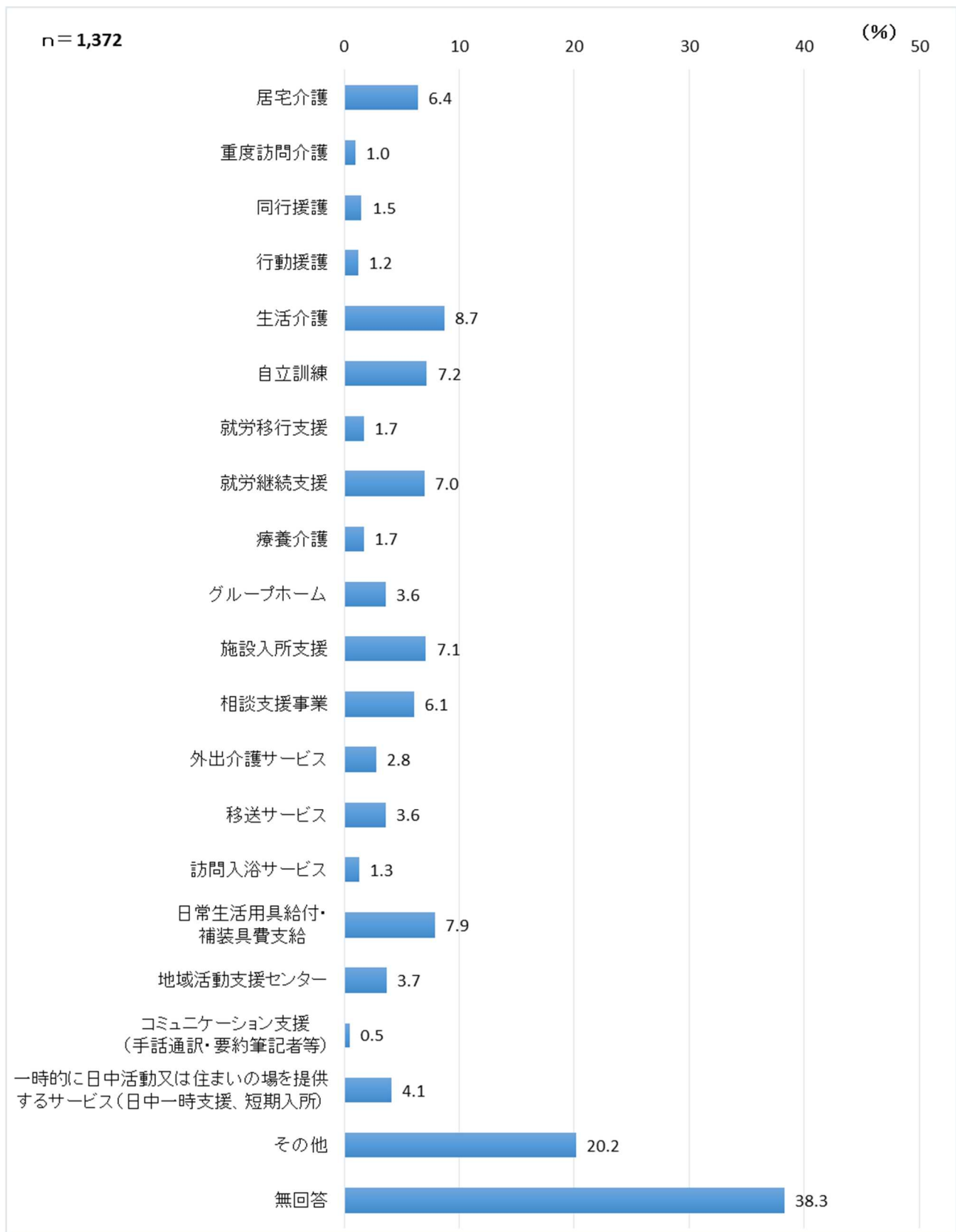


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	自分の家の近くに働く場があること	17.5	13.9	28.9	31.5	13.0	15.8	22.2	0.0	14.6
2	通勤することなく自分の家で働けること	9.8	9.3	4.4	16.0	6.5	15.8	11.1	0.0	14.6
3	障がいのあるかたにあった仕事を用意されていること	24.9	19.3	48.9	35.8	34.8	26.3	33.3	0.0	22.9
4	就労支援機関が充実していること	13.9	9.1	35.6	21.6	19.6	15.8	22.2	0.0	16.7
5	事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること	24.4	20.0	44.4	36.4	23.9	21.1	33.3	0.0	16.7
6	職場の施設や設備が、障がいのあるかたにも利用できるように配慮されていること	17.8	15.1	31.1	21.0	23.9	26.3	33.3	33.3	10.4
7	同じような障がいのある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること	10.5	7.3	23.7	16.7	10.9	15.8	22.2	0.0	12.5
8	その他	6.4	5.6	5.2	8.0	13.0	21.1	0.0	33.3	8.3
9	特にない	38.5	45.4	22.2	21.6	15.2	31.6	33.3	33.3	31.3
10	無回答	12.6	13.9	4.4	8.0	23.9	10.5	11.1	0.0	16.7

- 働くために必要だと思うことについては、全体で「特にない」と答えた方の割合が 38.5%と最も高く、次いで「障がいのあるかたにあった仕事を用意されていること」が 24.9%、「事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること」が 24.4%となっています。
- 障がいの種類別にみると、「知的障がい」及び「身体障がい・知的障がい」では、「障がいのあるかたにあった仕事を用意されていること」と答えた方の割合が最も高く、「精神障がい」では、「事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること」と答えた方の割合が最も高くなっています。

V 福祉サービスについて

問 1 6 あなたは次の福祉サービスを利用していますか。(複数回答)

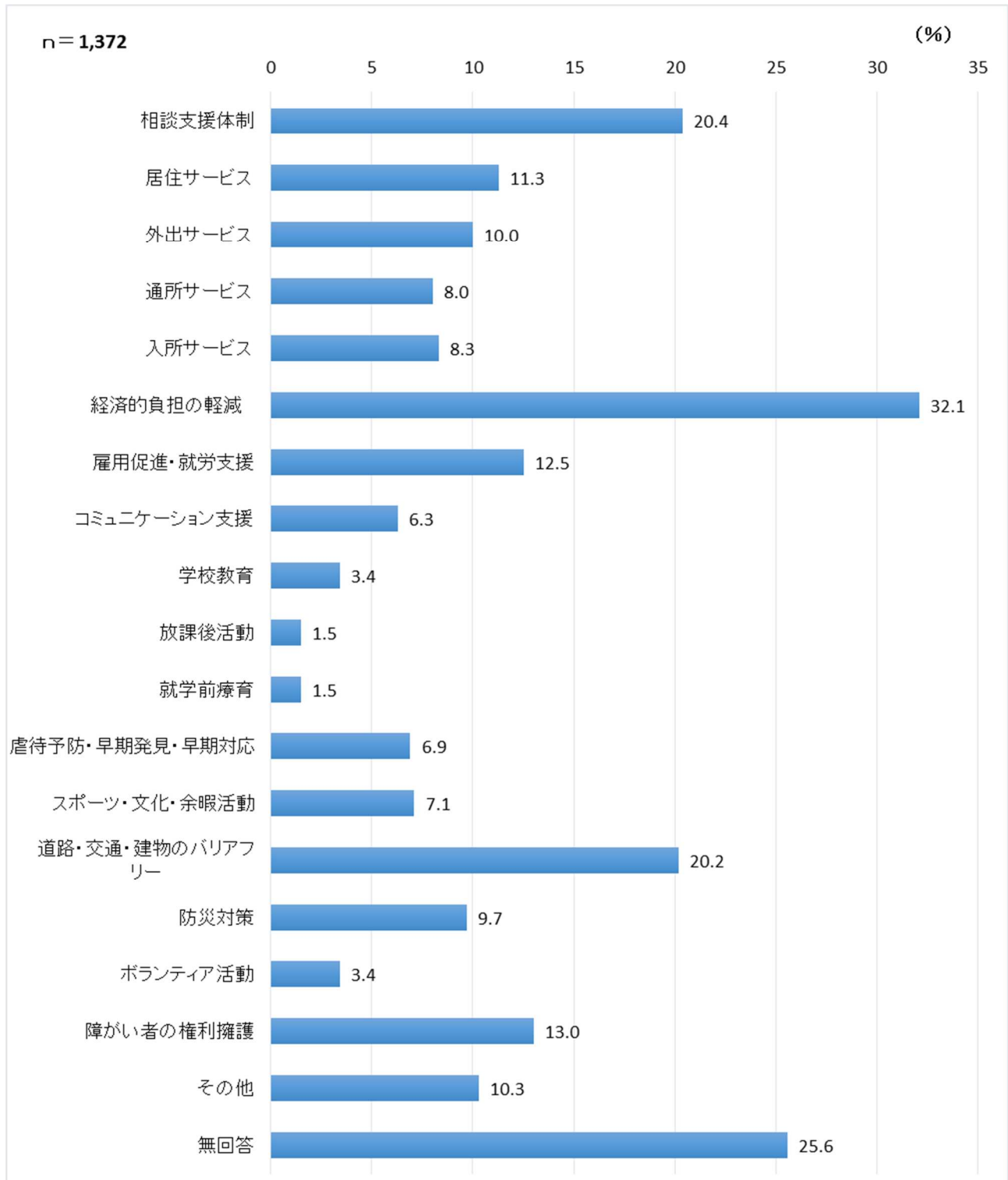


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	居宅介護	6.4	7.2	0.0	7.4	6.5	10.5	11.1	0.0	4.2
2	重度訪問介護	1.0	0.7	0.7	1.2	4.3	5.3	0.0	33.3	0.0
3	同行援護	1.5	1.4	3.0	0.0	0.0	10.5	0.0	33.3	0.0
4	行動援護	1.2	0.8	3.0	1.2	4.3	0.0	11.1	0.0	0.0
5	生活介護	8.7	6.7	12.6	6.2	32.6	10.5	11.1	33.3	18.8
6	自立訓練	7.2	7.1	6.7	8.0	6.5	0.0	11.1	33.3	10.4
7	就労移行支援	1.7	0.8	5.9	3.7	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
8	就労継続支援	7.0	2.3	31.9	11.1	19.6	0.0	22.2	0.0	4.2
9	療養介護	1.7	1.8	2.2	0.0	4.3	10.5	0.0	0.0	0.0
10	グループホーム	3.6	1.5	14.8	1.9	6.5	10.5	11.1	33.3	12.5
11	施設入所支援	7.1	5.2	16.3	3.7	28.3	5.3	22.2	0.0	10.4
12	相談支援事業	6.1	2.2	23.7	9.3	30.4	5.3	0.0	0.0	2.1
13	外出介護サービス	2.8	2.7	1.5	2.5	6.5	10.5	0.0	33.3	2.1
14	移送サービス	3.6	3.4	3.7	2.5	4.3	10.5	0.0	0.0	10.4
15	訪問入浴サービス	1.3	1.6	0.0	0.0	2.2	5.3	0.0	0.0	2.1
16	日常生活用具給付・補装具費支給	7.9	9.5	1.5	0.6	19.6	5.3	0.0	0.0	12.5
17	地域活動支援センター	3.7	2.4	1.5	9.3	10.9	10.5	0.0	0.0	8.3
18	コミュニケーション支援（手話通訳・要約筆記者等）	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19	一時的に日中活動又は住まいの場を提供するサービス（日中一時支援、短期入所）	4.1	3.1	8.9	1.2	19.6	5.3	11.1	0.0	4.2
20	その他	20.2	22.9	11.9	19.1	2.2	21.1	11.1	0.0	12.5
21	無回答	38.3	43.6	17.0	38.9	19.6	5.3	0.0	0.0	33.3

○福祉サービスを利用しているかについては、全体で「生活介護」と答えた方の割合が8.7%と最も高く、次いで「日常生活用具給付・補装具費支給」が7.9%となっています。

○障がいの種類別にみると、「身体障がい」では、「日常生活用具給付・補装具費支給」と答えた方の割合が7.4%と最も高く、「知的障がい」及び「精神障がい」では、「就労継続支援」と答えた方の割合が最も高く、「身体障がい・知的障がい」では、「生活介護」と答えた方の割合が、最も高くなっています。

問 1 7 青森市の障がい福祉施策の中で、改善や拡充をしてほしいと思うことはありますか。(複数回答)

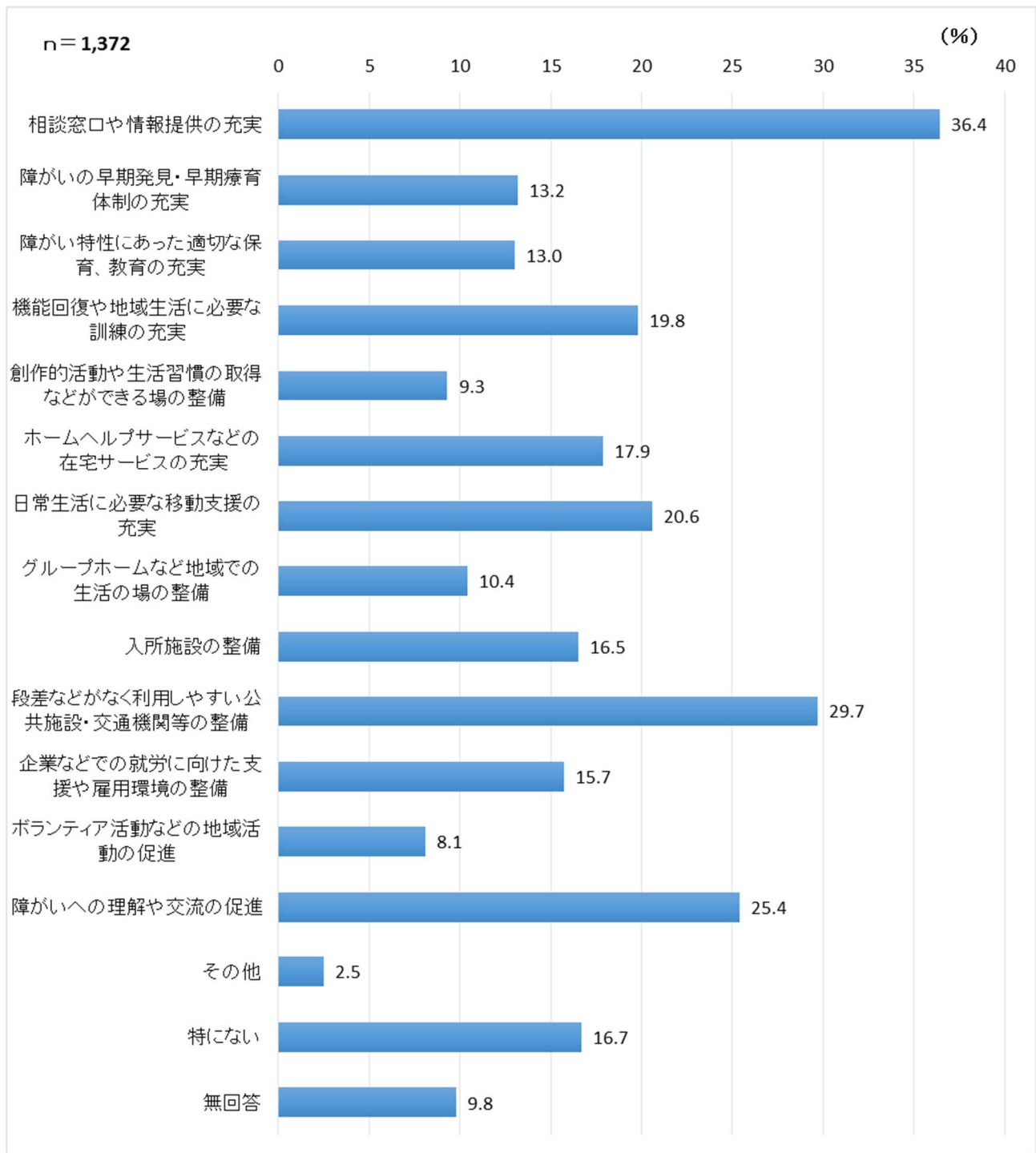


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	相談支援体制	20.4	18.4	32.6	23.5	26.1	15.8	22.2	0.0	12.5
2	居住サービス	11.3	10.6	12.6	15.4	6.5	21.1	0.0	0.0	10.4
3	外出サービス	10.0	9.1	11.9	10.5	23.9	15.8	0.0	33.3	6.3
4	通所サービス	8.0	6.9	14.8	7.4	17.4	10.5	0.0	0.0	4.2
5	入所サービス	8.3	7.3	14.1	7.4	21.7	0.0	11.1	33.3	4.2
6	経済的負担の軽減	32.1	32.2	35.6	32.1	23.9	21.1	33.3	33.3	31.3
7	雇用促進・就労支援	12.5	10.4	23.0	19.1	8.7	10.5	22.2	0.0	4.2
8	コミュニケーション支援	6.3	5.2	10.4	10.5	4.3	10.5	11.1	0.0	2.1
9	学校教育	3.4	3.4	3.7	3.1	0.0	10.5	0.0	0.0	4.2
10	放課後活動	1.5	1.2	3.0	1.2	2.2	5.3	0.0	0.0	2.1
11	就学前療育	1.5	0.9	3.7	1.9	2.2	5.3	0.0	0.0	2.1
12	虐待予防・早期発見・早期対応	6.9	3.8	17.0	11.1	15.2	15.8	11.1	33.3	10.4
13	スポーツ・文化・余暇活動	7.1	5.7	14.8	9.3	10.9	0.0	11.1	0.0	4.2
14	道路・交通・建物のバリアフリー	20.2	23.6	9.6	6.2	39.1	31.6	0.0	0.0	12.5
15	防災対策	9.7	10.6	10.4	5.6	10.9	0.0	0.0	0.0	8.3
16	ボランティア活動	3.4	2.8	6.7	3.7	4.3	5.3	0.0	0.0	4.2
17	障がい者の権利擁護	13.0	10.4	21.5	18.5	8.7	21.1	22.2	33.3	18.8
18	その他	10.3	10.9	7.4	10.5	2.2	26.3	11.1	0.0	8.3
19	無回答	25.6	28.0	17.0	20.4	15.2	10.5	11.1	0.0	39.6

- 障がい福祉施策で改善や拡充をしてほしいと思うことについては、全体で「経済的負担の軽減」と答えた方の割合が32.1%と最も高く、次いで「相談支援体制」が20.4%、「道路・交通・建物のバリアフリー」が20.2%となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「身体障がい・知的障がい」及び「身体障がい・精神障がい」では、「道路・交通・建物のバリアフリー」と答えた方の割合が最も高くなっています。

障がいのある方用

問18 障がいのあるかたが地域で自立して生活を送るために、重要だと思うことは何ですか。(複数回答)



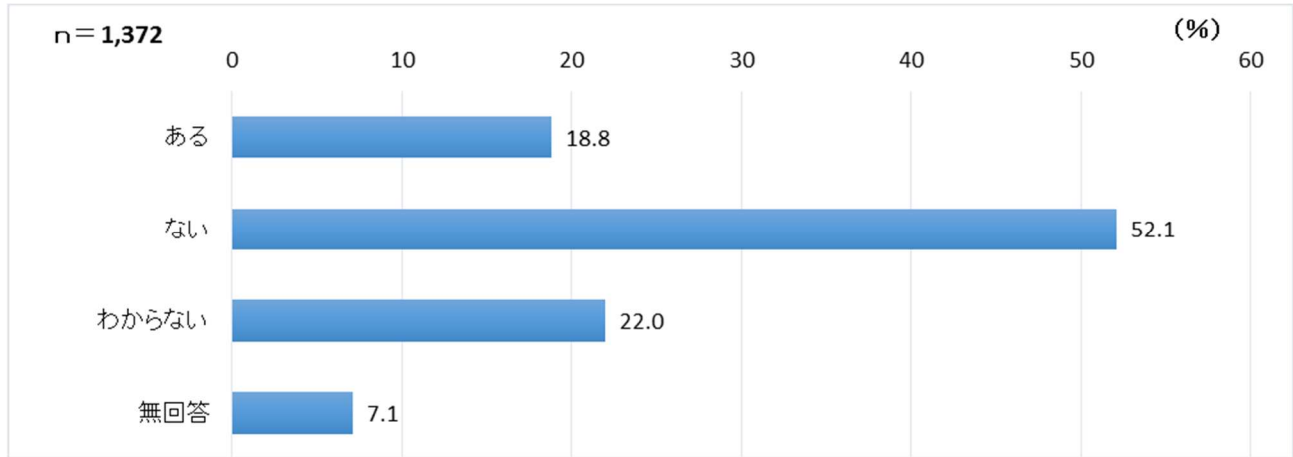
		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	相談窓口や情報提供の充実	36.4	35.3	39.3	40.1	37.0	31.6	55.6	33.3	33.3
2	障がいの早期発見・早期療育体制の充実	13.2	10.9	23.0	19.1	8.7	5.3	22.2	33.3	10.4
3	障がい特性にあった適切な保育、教育の充実	13.0	10.2	28.9	14.2	17.4	10.5	22.2	0.0	12.5
4	機能回復や地域生活に必要な訓練の充実	19.8	20.2	17.0	14.8	26.1	26.3	0.0	66.7	22.9
5	創作的活動や生活習慣の取得などができる場の整備	9.3	6.6	17.0	12.3	23.9	15.8	0.0	0.0	10.4
6	ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実	17.9	17.8	22.2	12.3	15.2	36.8	11.1	33.3	16.7
7	日常生活に必要な移動支援の充実	20.6	19.4	24.4	22.8	23.9	21.1	11.1	33.3	18.8
8	グループホームなど地域での生活の場の整備	10.4	7.5	25.2	9.3	26.1	10.5	11.1	33.3	10.4
9	入所施設の整備	16.5	14.4	28.9	14.2	34.8	21.1	0.0	66.7	8.3
10	段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関等の整備	29.7	33.5	14.1	14.2	50.0	36.8	22.2	33.3	25.0
11	企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備	15.7	14.3	24.4	19.1	10.9	15.8	33.3	0.0	6.3
12	ボランティア活動などの地域活動の促進	8.1	6.9	12.6	9.3	8.7	10.5	0.0	0.0	10.4
13	障がいへの理解や交流の促進	25.4	20.3	40.7	33.3	37.0	42.1	77.8	33.3	25.0
14	その他	2.5	2.5	0.7	0.6	2.2	15.8	0.0	0.0	4.2
15	特になし	16.7	16.8	20.0	16.7	4.3	5.3	11.1	33.3	20.8
16	無回答	9.8	11.4	4.4	4.3	13.0	0.0	0.0	0.0	16.7

○地域で自立して生活を送るために重要だと思うことについては、全体で「相談窓口や情報提供の充実」と答えた方の割合が36.4%と最も高く、次いで「段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関等の整備」が29.7%となっています。

○障がいの種類別にみると、「知的障がい」及び「身体障がい・精神障がい」、「知的障がい・精神障がい」では、「障がいへの理解や交流の促進」と答えた方の割合が最も高く、「身体障がい・知的障がい」では、「段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関等の整備」と答えた方の割合が最も高くなっています。また、「身体障がい・知的障がい・精神障がい」では、「機能回復や地域生活に必要な訓練の充実」及び「入所施設の整備」と答えた方の割合が最も高くなっています。

VI 差別や偏見について

問19 (1) あなたは障がいを理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがありますか。(単数回答)



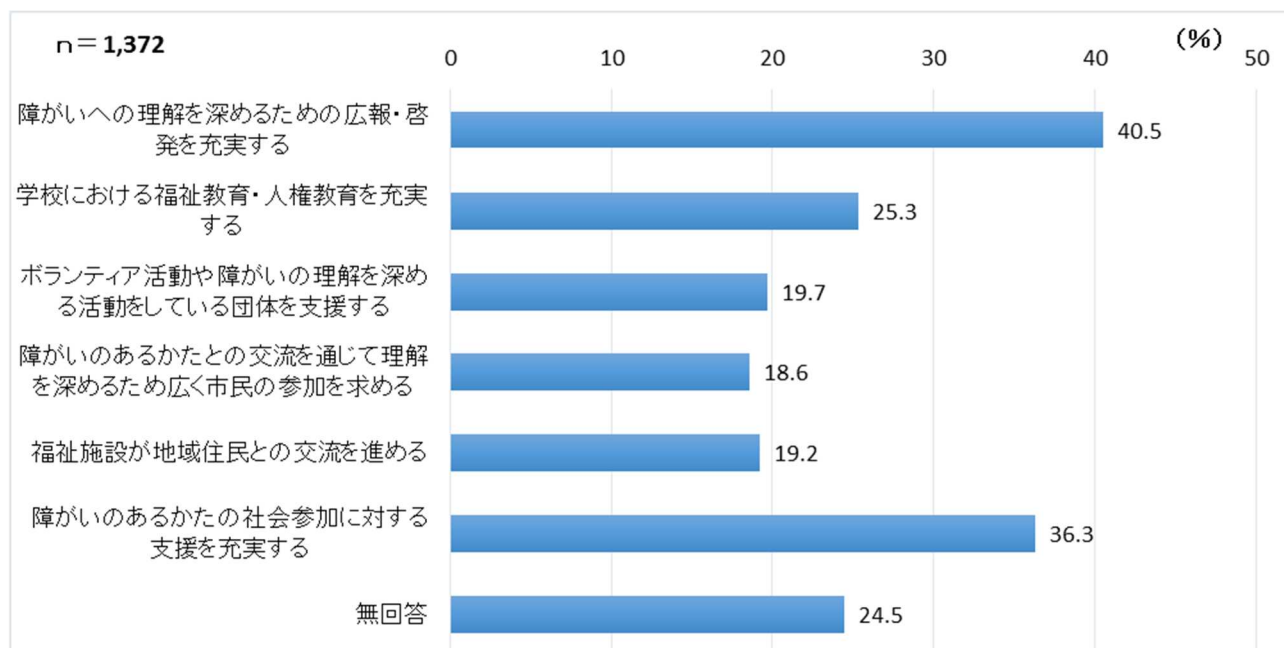
		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	ある	18.8	16.5	20.7	25.3	30.4	21.1	55.6	66.7	14.6
2	ない	52.1	59.6	29.6	40.1	19.6	42.1	11.1	33.3	52.1
3	わからない	22.0	16.4	42.2	34.0	37.0	26.3	22.2	0.0	20.8
4	無回答	7.1	7.5	7.4	0.6	13.0	10.5	11.1	0.0	12.5

- 差別・暮らしにくさ、いやな思いについては、全体で「ない」と答えた方の割合が52.1%と最も高く、次いで「わからない」が22.0%となっています。
- 障がいの種類別にみると、「知的障がい」及び「身体障がい・知的障がい」では、「わからない」と答えた方の割合が最も高く、「知的障がい・精神障がい」及び「身体障がい・知的障がい・精神障がい」では、「ある」と答えた方の割合が最も高くなっています。

(2) 「1. ある」に○をつけたかたにお聞きします。それは、どのような時で、どのように感じましたか。具体的にお書きください。

※ 省略

問 2 0 障がいへの理解を深めるために必要だと思うことは何ですか。(複数回答)

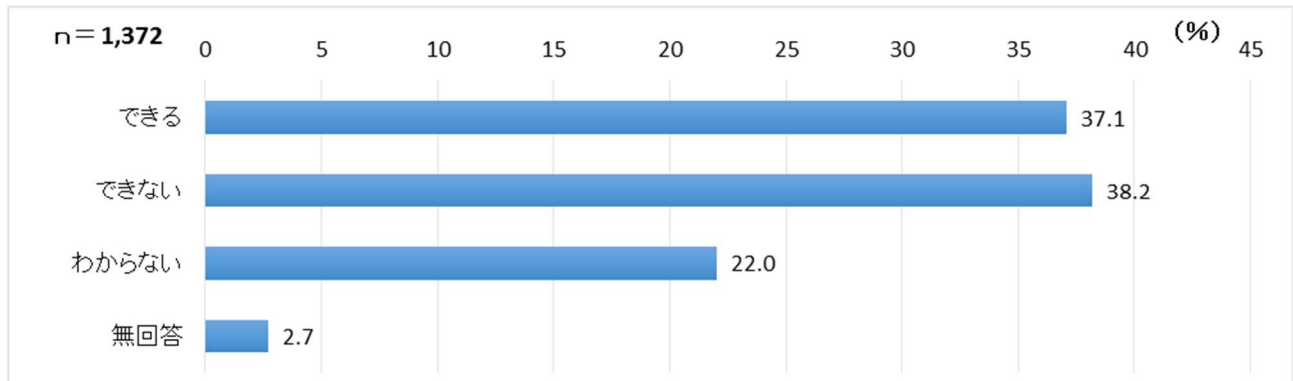


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	障がいへの理解を深めるための広報・啓発を充実する	40.5	39.4	41.5	46.3	37.0	42.1	66.7	33.3	37.5
2	学校における福祉教育・人権教育を充実する	25.3	23.4	37.0	25.9	32.6	26.3	11.1	33.3	22.9
3	ボランティア活動や障がいの理解を深める活動をしている団体を支援する	19.7	17.8	28.1	22.2	21.7	36.8	11.1	33.3	16.7
4	障がいのあるかたとの交流を通じて理解を深めるため広く市民の参加を求める	18.6	16.2	31.9	16.7	32.6	26.3	33.3	0.0	16.7
5	福祉施設が地域住民との交流を進める	19.2	18.0	28.1	13.6	34.8	31.6	11.1	33.3	16.7
6	障がいのあるかたの社会参加に対する支援を充実する	36.3	32.5	50.4	45.7	39.1	47.4	55.6	33.3	29.2
7	無回答	24.5	27.1	16.3	15.4	21.7	10.5	11.1	0.0	39.6

- 障がいへの理解を深めるために必要だと思うことについては、全体で「障がいへの理解を深めるための広報・啓発を充実する」と答えた方の割合が40.5%と最も高く、次いで「障がいのあるかたの社会参加に対する支援を充実する」が36.3%となっています。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」及び「精神障がい」、「知的障がい・精神障がい」では、「障がいへの理解を深めるための広報・啓発を充実する」と答えた方の割合が最も高く、「知的障がい」及び「身体障がい・知的障がい」、「身体障がい・精神障がい」では、「障がいのあるかたの社会参加に対する支援を充実する」と答えた方の割合が最も高くなっています。

VII 防災について

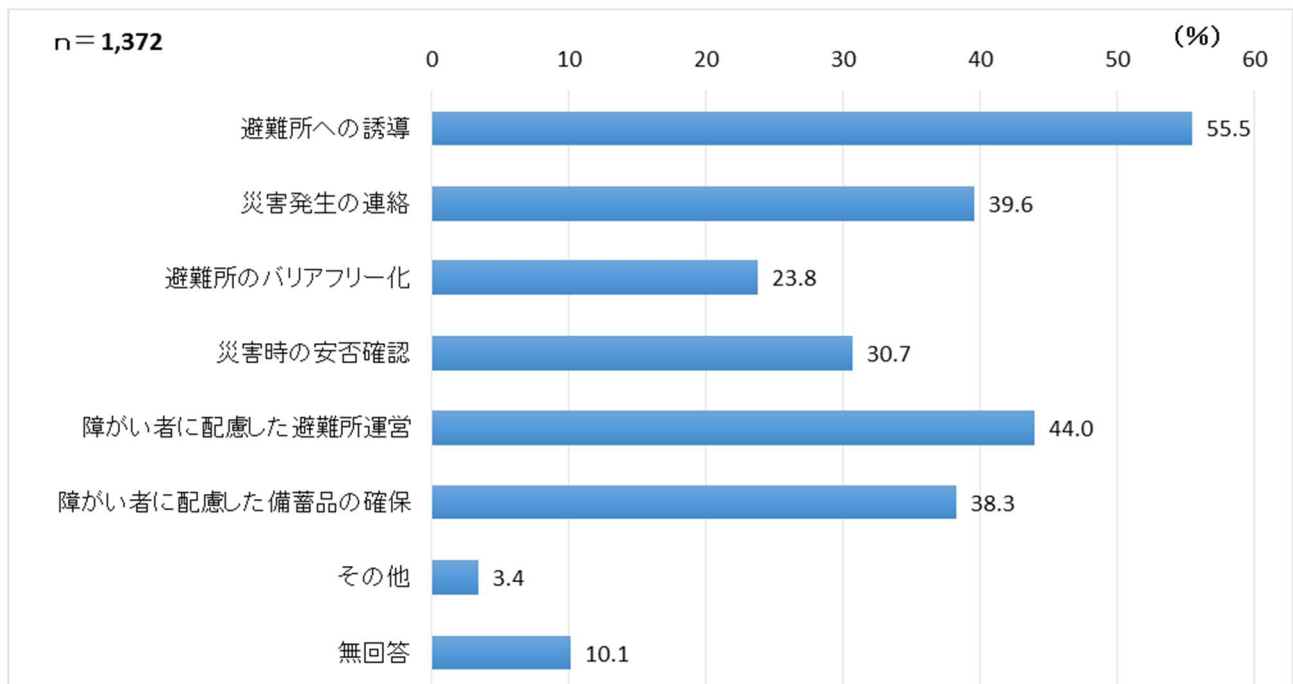
問 2 1 あなたは災害時に一人で避難できますか。(単数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	できる	37.1	38.7	28.9	48.1	6.5	26.3	22.2	0.0	29.2
2	できない	38.2	37.2	46.7	21.6	69.6	63.2	55.6	66.7	45.8
3	わからない	22.0	21.5	23.0	29.0	15.2	10.5	22.2	33.3	16.7
4	無回答	2.7	2.6	1.5	1.2	8.7	0.0	0.0	0.0	8.3

- 災害時に一人で避難できますかについては、全体で「できない」と答えた方の割合が 38.2%と最も高く、次いで「できる」が 37.1%となっています。前回の調査では、「できない」と答えた方の割合が 46.4%、「できる」が 30.6%でした。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」及び「精神障がい」では、「できる」と答えた方の割合が最も高く、他の障がいの種類では、「できない」と答えた方の割合が最も高くなっています。

問 2 2 災害時の支援体制について、どのようなことを希望しますか。(複数回答)



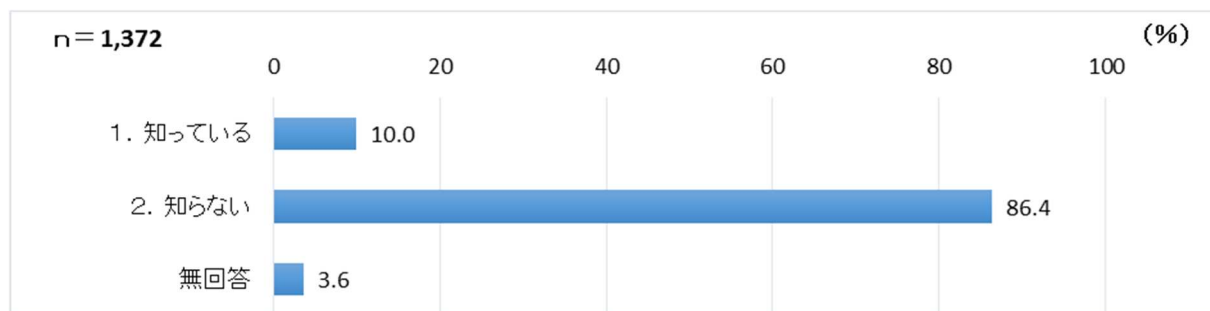
		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	避難所への誘導	55.5	53.2	65.2	58.0	63.0	57.9	77.8	66.7	52.1
2	災害発生の連絡	39.6	40.1	36.3	43.8	32.6	15.8	55.6	66.7	35.4
3	避難所のバリアフリー化	23.8	26.0	15.6	16.0	41.3	21.1	0.0	0.0	18.8
4	災害時の安否確認	30.7	29.8	36.3	34.0	30.4	26.3	22.2	100.0	20.8
5	障がい者に配慮した避難所運営	44.0	42.4	50.4	44.4	56.5	52.6	44.4	66.7	39.6
6	障がい者に配慮した備蓄品の確保	38.3	38.9	35.6	35.2	47.8	36.8	22.2	66.7	35.4
7	その他	3.4	2.9	4.4	5.6	0.0	5.3	0.0	0.0	4.2
8	無回答	10.1	10.2	8.9	9.9	8.7	0.0	0.0	0.0	18.8

○災害時の支援体制については、全体で「避難所への誘導」と答えた方の割合が 55.5%と最も高く、次いで「障がい者に配慮した避難所運営」が 44.0%となっています。

○障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「身体障がい・知的障がい・精神障がい」では、「災害時の安否確認」と答えた方の割合が最も高くなっています。

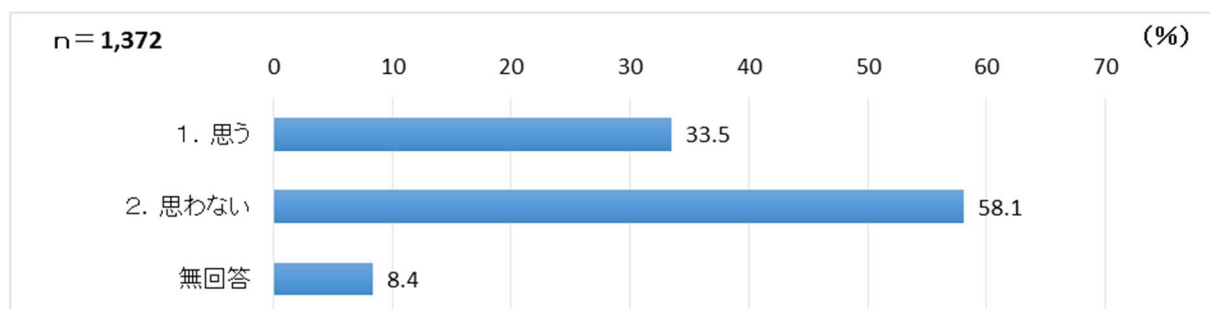
Ⅷ その他

問 2 3 青森市では、障がいのある方々が、住みなれた地域や家庭で安心して生活が送れるよう、相談支援体制の強化と、障がい者を支えるネットワークの構築を図るため、平成19年度に青森市自立支援協議会を設置しましたが、あなたはこの協議会のことを知っていますか。(単数回答)

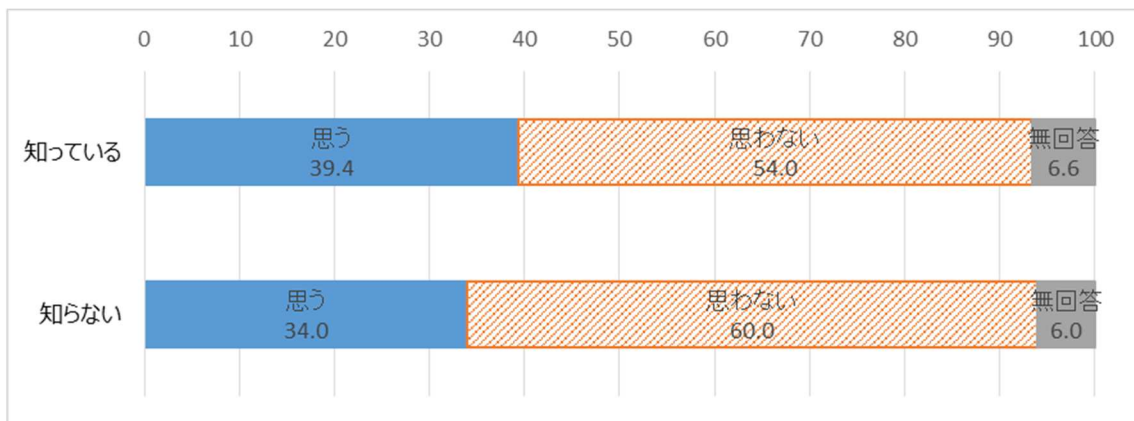


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	1. 知っている	10.0	10.1	9.6	11.1	6.5	10.5	0.0	33.3	8.3
2	2. 知らない	86.4	86.8	85.9	87.0	82.6	89.5	100.0	66.7	79.2
3	無回答	3.6	3.1	4.4	1.9	10.9	0.0	0.0	0.0	12.5

問 2 4 障がいのある方が話し合う場があれば、参加したいと思いますか。(単数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	1,372	950	135	162	46	19	9	3	48
1	1. 思う	33.5	34.9	31.1	32.1	28.3	31.6	33.3	33.3	22.9
2	2. 思わない	58.1	56.7	60.0	63.6	54.3	68.4	66.7	66.7	58.3
3	無回答	8.4	8.3	8.9	4.3	17.4	0.0	0.0	0.0	18.8



		n (人)	思う	思わない	無回答
1	知っている	137	39.4	54.0	6.6
2	知らない	1,186	34.0	60.0	6.0
3	無回答	49	6.1	22.4	71.4

○青森市自立支援協議会のことを知っているかについては、「知っている」と答えた方の割合が 10.0%、「知らない」と答えた方の割合が 86.4%となっています。

○障がいのある方が話し合う場に参加したいと思うかについては、「思う」と答えた方の割合が 33.5%、「思わない」と答えた方の割合が 58.1%となっています。

○青森市自立支援協議会のことを「知っている」方内、話し合う場に参加したいと思うかについて、「思う」と答えた方の割合が 39.4%、「思わない」と答えた方の割合が 54.0%となっています。

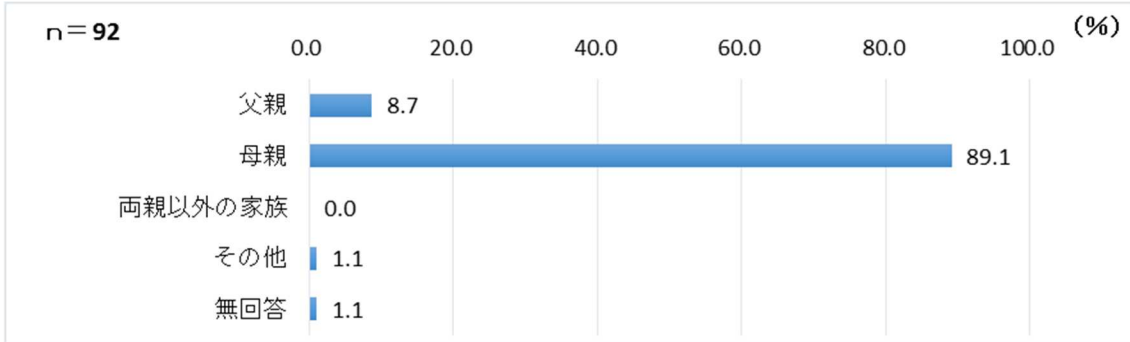
○青森市自立支援協議会のことを「知らない」方内、話し合う場に参加したいと思うかについて、「思う」と答えた方の割合が 34.0%、「思わない」と答えた方の割合が 60.0%となっています。

問 2 5 その他、意見や要望、提案などありましたら、お書きください。

※ 省 略

I はじめに

問 このアンケートにお答えいただけるかたは、どなたですか。

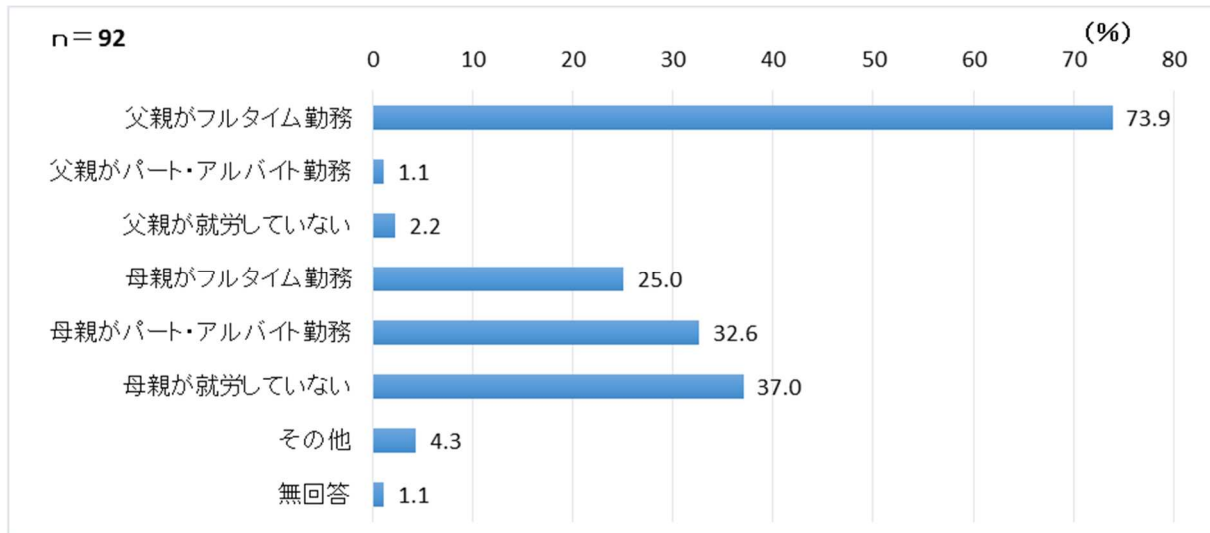


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	0	2	0	1
1	父親	8.7	10.0	9.8	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2	母親	89.1	85.0	90.2	100.0	90.9	0.0	100.0	0.0	0.0
3	両親以外の家族	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	その他	1.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	無回答	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

- アンケートにお答えいただいた方全体では、「母親」と答えた方の割合が 89.1%と最も高く、次いで「父親」が 8.7%となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられます。

Ⅱ お子さん（あて名のご本人）の保護者のかたについておたずねします。

問1 就労状況を教えてください。（複数回答）

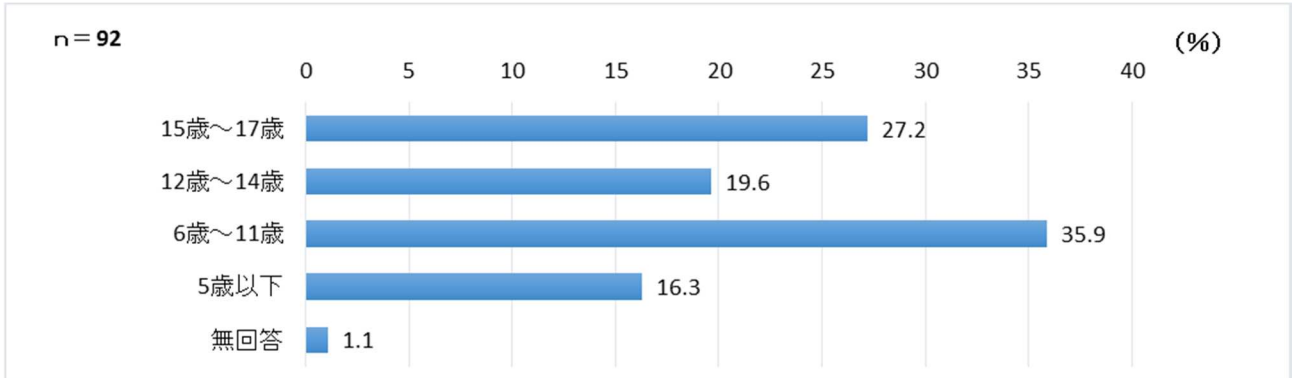


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	父親がフルタイム勤務	73.9	70.0	74.5	71.4	90.9	50.0	0.0
2	父親がパート・アルバイト勤務	1.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	父親が就労していない	2.2	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0
4	母親がフルタイム勤務	25.0	25.0	25.5	28.6	27.3	0.0	0.0
5	母親がパート・アルバイト勤務	32.6	40.0	37.3	14.3	0.0	100.0	0.0
6	母親が就労していない	37.0	30.0	31.4	57.1	72.7	0.0	0.0
7	その他	4.3	5.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
8	無回答	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

- 保護者の就労状況については、全体で「父親がフルタイム勤務」と答えた方の割合が73.9%と最も高く、次いで「母親が就労していない」が37.0%となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「知的障がい・精神障がい」の重複障がいでは、「母親がパート・アルバイト勤務」と答えた方の割合が最も高くなっています。

Ⅲ お子さん（あて名のご本人）のことについておたずねします。

問2 お子さんの年齢をお答えください。

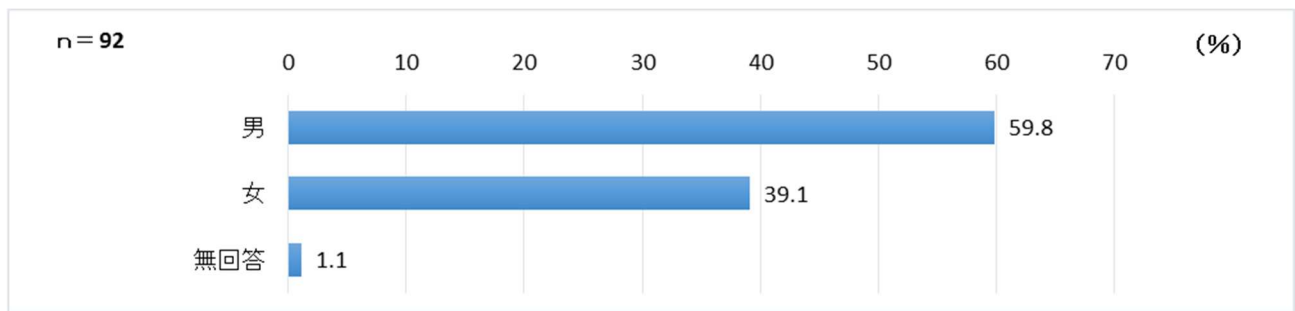


	全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
n (人)	92	20	51	7	11	2	1
15歳～17歳	27.2	10.0	31.4	28.6	36.4	50.0	0.0
12歳～14歳	19.6	30.0	13.7	14.3	36.4	0.0	0.0
6歳～11歳	35.9	25.0	43.1	42.9	18.2	50.0	0.0
5歳以下	16.3	35.0	11.8	14.3	9.1	0.0	0.0
無回答	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

- 年齢については、全体で「6歳～11歳」と答えた方の割合が35.9%と最も高く、次いで「15歳～17歳」が27.2%となっています。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」では、「5歳以下」と答えた方の割合が最も高く、次いで「12歳～14歳」となっています。また、「身体障がい・知的障がい」では、「12歳～14歳」及び「15歳～17歳」と答えた方が最も高くなっています。

障がいのあるお子さんの保護者用

問3 お子さんの性別をお答えください。(単数回答)

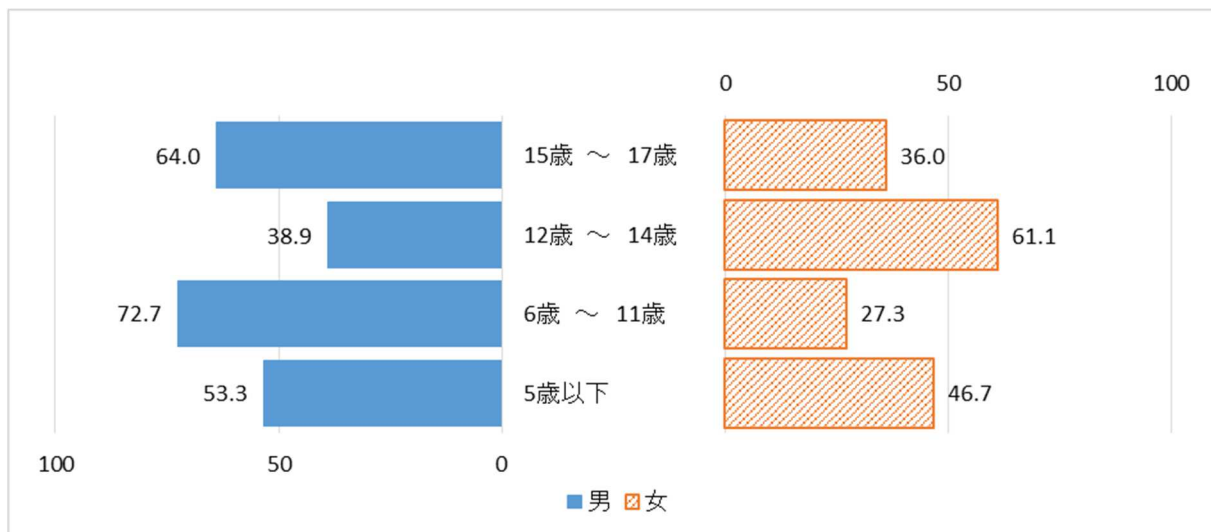


	全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
n (人)	92	20	51	7	11	2	1
男	59.8	50.0	70.6	71.4	18.2	100.0	0.0
女	39.1	50.0	29.4	28.6	81.8	0.0	0.0
無回答	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

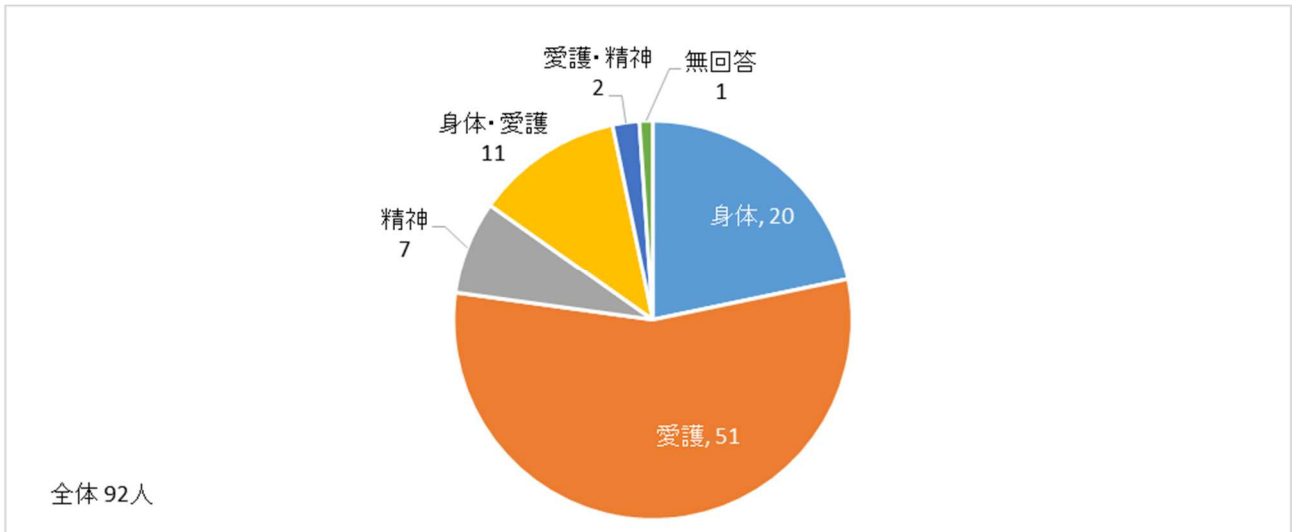
○性別については、全体で「男」と答えた方の割合が 59.8%と最も高くなっています。

○障がいの種類別にみると、「身体障がい・知的障がい」では、「女」と答えた方の割合が 81.8%と高く、「身体障がい」では、男女の割合が同じとなっています。

【年齢別男女の対比】

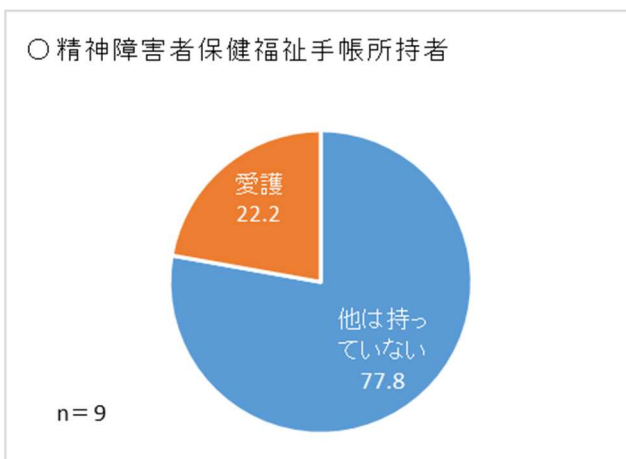
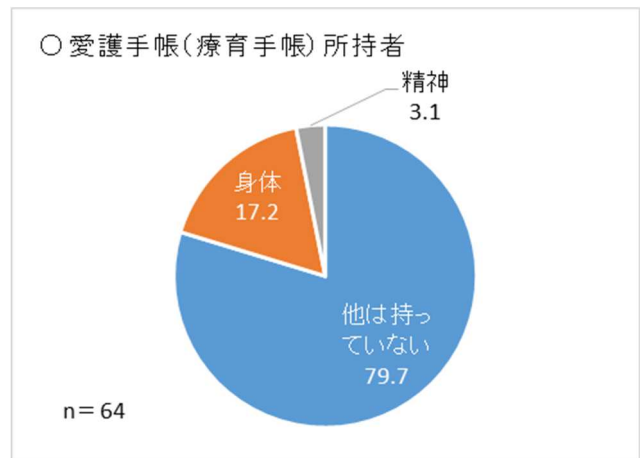
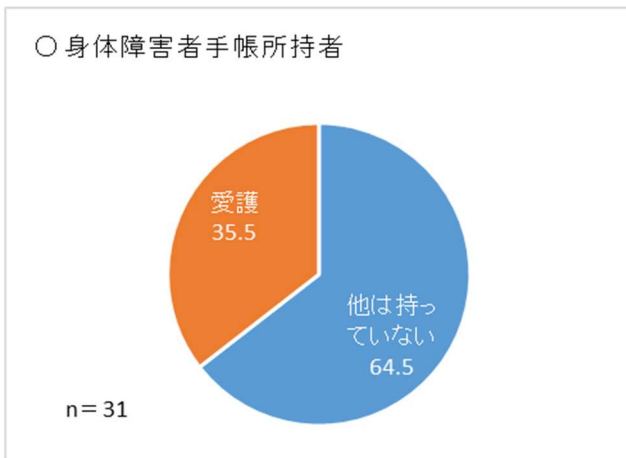


問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級を教えてください。(複数回答)



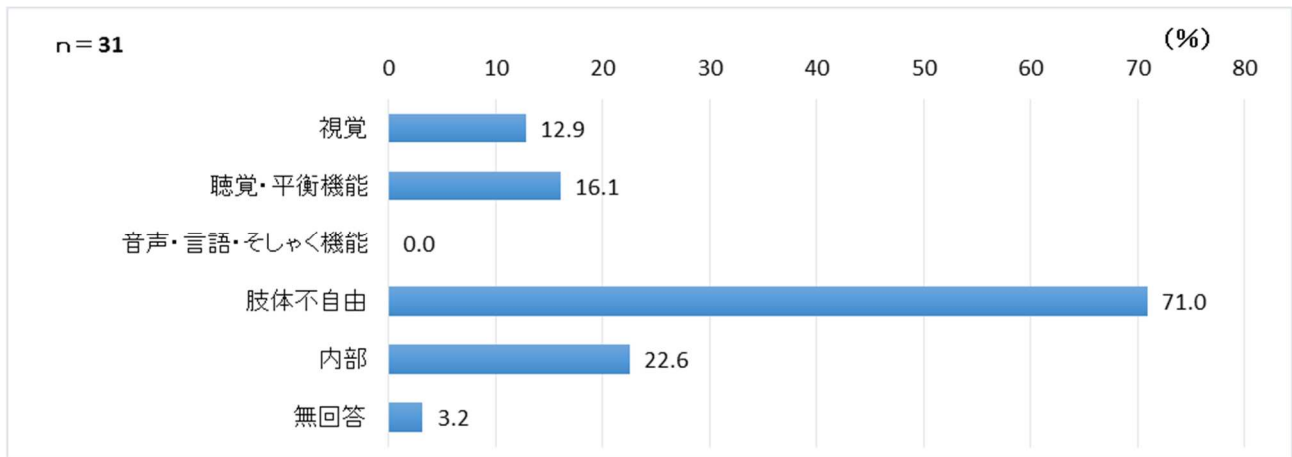
	全体	身体	愛護	精神	身体・愛護	身体・精神	愛護・精神	身体・愛護・精神	無回答
所持者数(人)	92	20	51	7	11	0	2	0	1

【複数種類の手帳の所持状況】



障がいのあるお子さんの保護者用

1. 身体障がい者手帳所持者の内訳

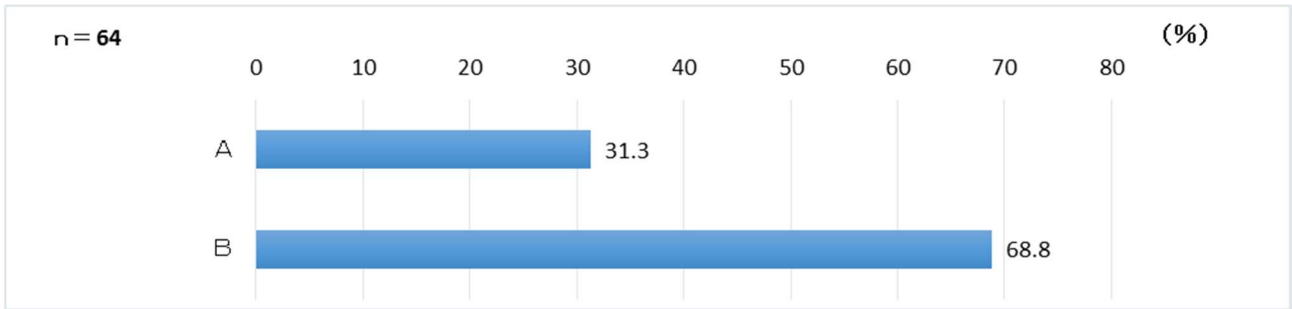


	全体(人)	視覚	聴覚・平衡機能	音声・言語・そしゃく機能	肢体不自由	内部	無回答
所持者数	31	12.9	16.1	0.0	71.0	22.6	3.2

○身体障がい者手帳所持者については、「肢体不自由」と答えた方の割合が71.0%と最も高く、次いで「内部」が22.6%となっています。18歳以上の障がい者と同様の結果になっています。

障がい種別／等級	所持者数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	無回答
視覚障がい	4	4	0	0	0	0	0	0	0
聴覚障がい	5		0	2	2		1		0
平衡機能障がい	0			0		0			0
音声・言語・そしゃく機能障がい	0			0	0				0
上肢機能障がい	6	3	1	1	0	0	0	1	0
下肢機能障がい	10	4	1	0	1	1	3	0	0
体幹機能障がい	2	2	0	0		0			0
脳原性運動機能障がい	4	2	1	0	0	0	1	0	0
心臓機能障がい	6	3		2	1				0
じん臓機能障がい	0	0		0	0				0
呼吸器機能障がい	0	0		0	0				0
ぼうこう・直腸機能障がい	1	0		1	0				0
小腸機能障がい	0	0		0	0				0
HIVによる免疫機能障がい	0	0	0	0	0				0
肝臓機能障がい	0	0	0	0	0				0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0
計	39	18	3	6	4	1	5	1	0

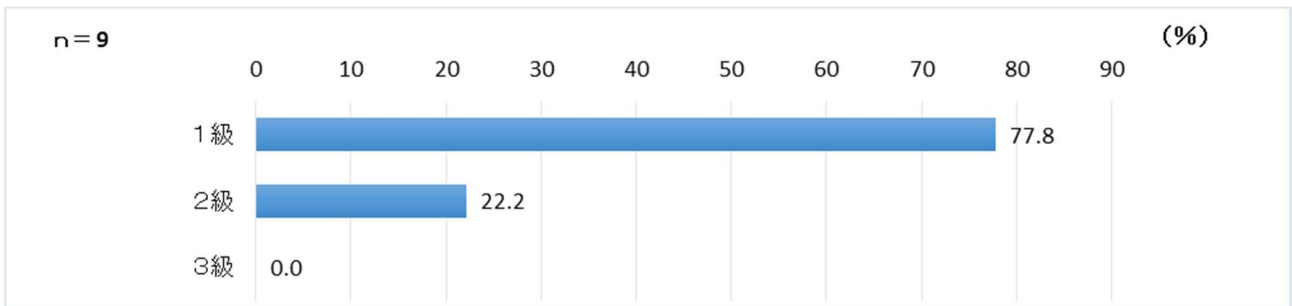
2. 愛護手帳（療育手帳）所持者の内訳



	全体(人)	A	B
所持者数	64	31.3	68.8

○愛護手帳（療育手帳）所持者については、「B」と答えた方の割合が68.8%、「A」が31.3%となっています。18歳以上の障がい者と同様の結果になっています。

3. 精神障がい者保健福祉手帳所持者の内訳

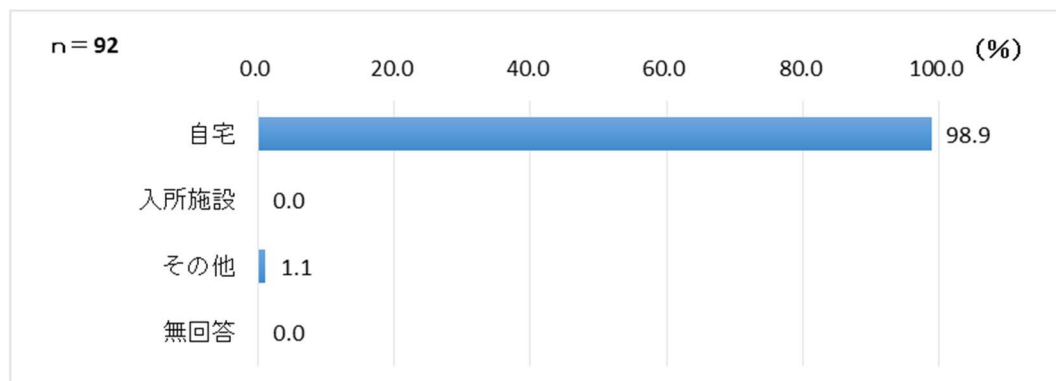


	全体(人)	1級	2級	3級
所持者数	9	77.8	22.2	0.0

○精神障がい者保健福祉手帳所持者については、「1級」と答えた方の割合が77.8%と最も高く、次いで「2級」が22.2%となっています。18歳以上の障がい者と比較して「1級」と答えた方の割合が高くなっています。

IV 日常生活について

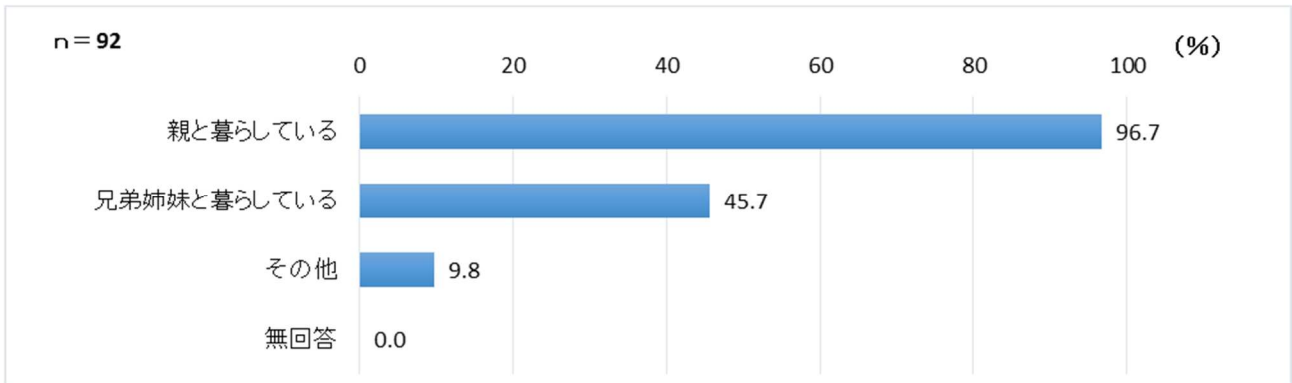
問5 現在、お子さんが暮らしているところは、次のどれですか。(単数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	自宅	98.9	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2	入所施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	その他	1.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 暮らしているところについては、全体で「自宅」と答えた方の割合が 98.9%と最も高くなっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられます。

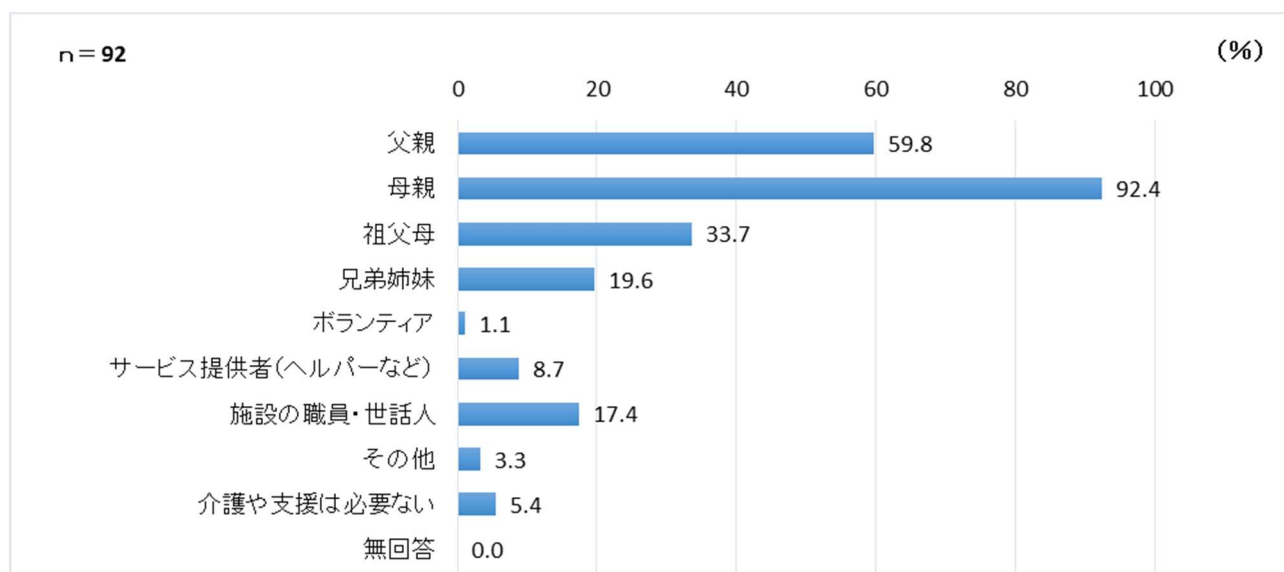
問6 お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。(複数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	親と暮らしている	96.7	95.0	98.0	100.0	100.0	50.0	100.0
2	兄弟姉妹と暮らしている	45.7	45.0	45.1	42.9	54.5	50.0	0.0
3	その他	9.8	25.0	5.9	0.0	9.1	0.0	0.0
4	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 一緒に暮らしている方については、全体で「親と暮らしている」と答えた方の割合が96.7%と最も高く、次いで「兄弟姉妹と暮らしている」が45.7%となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられます。

問7 お子さんの介護や支援をしている人はどなたですか。(複数回答)

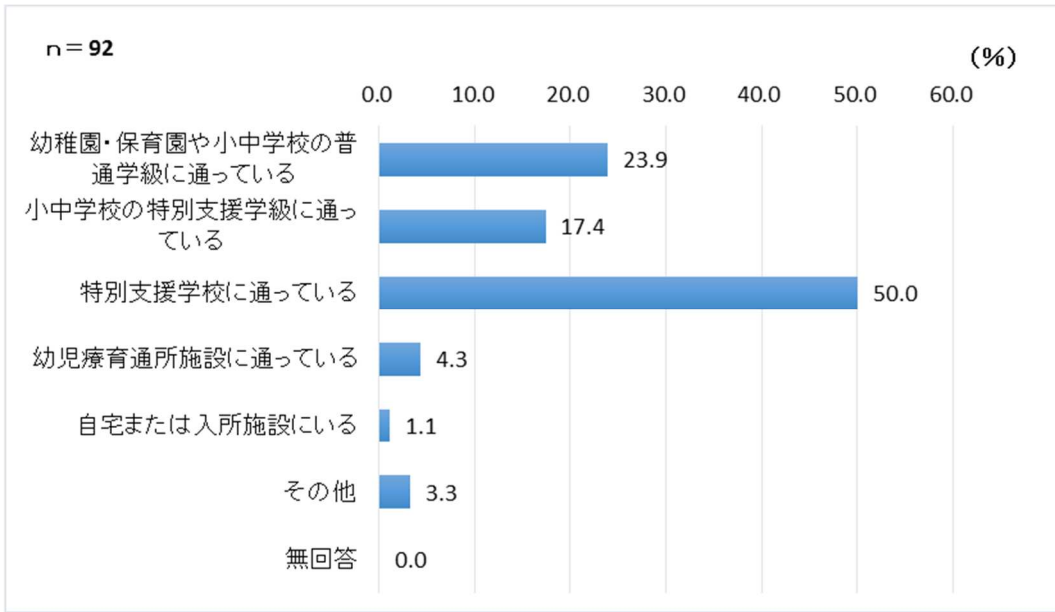


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	父親	59.8	35.0	62.7	57.1	90.9	50.0	100.0
2	母親	92.4	85.0	94.1	100.0	90.9	100.0	100.0
3	祖父母	33.7	40.0	29.4	28.6	45.5	50.0	0.0
4	兄弟姉妹	19.6	20.0	19.6	14.3	18.2	0.0	100.0
5	ボランティア	1.1	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	サービス提供者 (ヘルパーなど)	8.7	0.0	9.8	14.3	18.2	0.0	0.0
7	施設の職員・世話人	17.4	10.0	23.5	0.0	18.2	0.0	0.0
8	その他	3.3	5.0	2.0	0.0	9.1	0.0	0.0
9	介護や支援は必要ない	5.4	10.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
10	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○介助や支援をしている方については、全体では、「母親」と答えた方の割合が92.4%と最も高く、次いで「父親」が59.8%となっています。

○障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「身体障がい」では、「母親」に次いで「祖父母」と答えた方の割合が高くなっています。また、「身体障がい・知的障がい」では、「母親」及び「父親」と答えた方の割合が最も高くなっています。

問8 お子さんは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(単数回答)

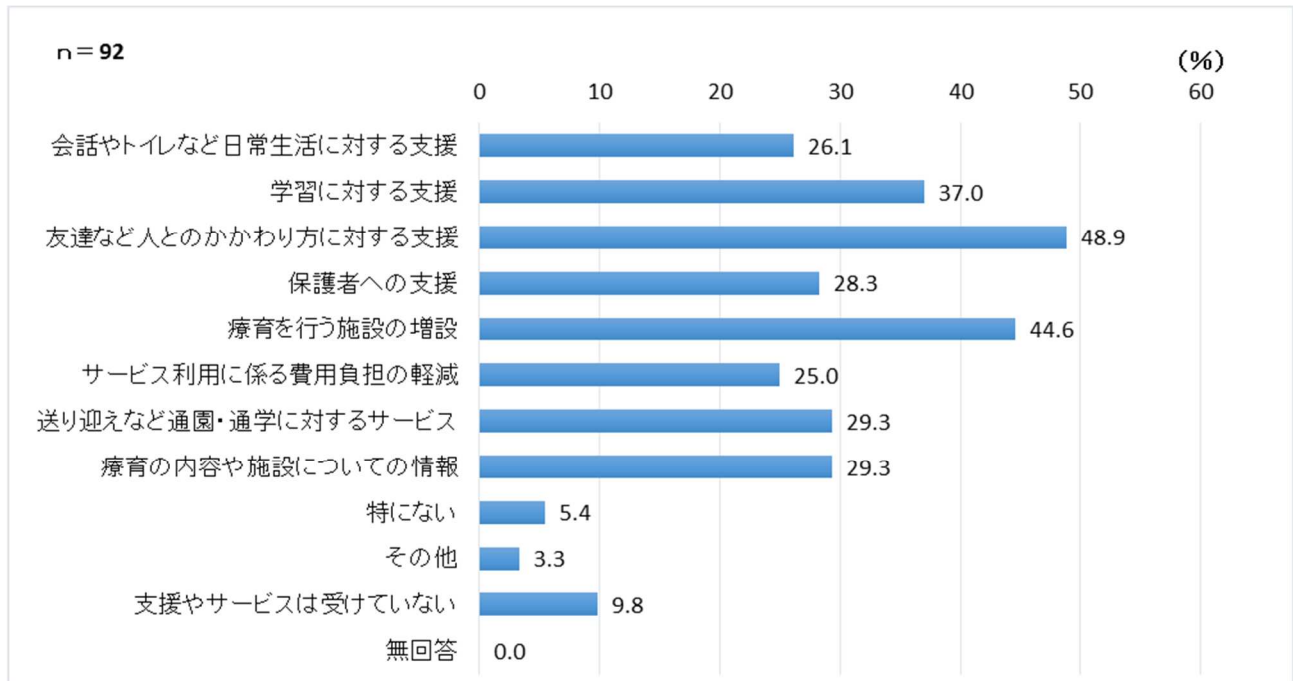


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	幼稚園・保育園や小中学校の普通学級に通っている	23.9	50.0	15.7	42.9	9.1	0.0	0.0
2	小中学校の特別支援学級に通っている	17.4	0.0	25.5	14.3	9.1	50.0	0.0
3	特別支援学校に通っている	50.0	35.0	52.9	28.6	81.8	50.0	0.0
4	幼児療育通所施設に通っている	4.3	5.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
5	自宅または入所施設にいる	1.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	その他	3.3	5.0	0.0	14.3	0.0	0.0	100.0
7	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 平日の日中の過ごし方については、全体で「特別支援学校に通っている」と答えた方の割合が 50.0% と最も高く、次いで「幼稚園・保育園や小中学校の普通学級に通っている」が 23.9% となっています。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」及び「精神障がい」では、「幼稚園・保育園や小中学校の普通学級に通っている」と答えた方の割合が最も高く、次いで「特別支援学校に通っている」が高くなっています。また、「知的障がい」では、「特別支援学校に通っている」と答えた方の割合が最も高く、次いで「小中学校の特別支援学級に通っている」となっています。

障がいのあるお子さんの保護者用

問9 お子さんが受けている療育や支援について、さらに充実させるべきと思う点がありますか。
(複数回答)



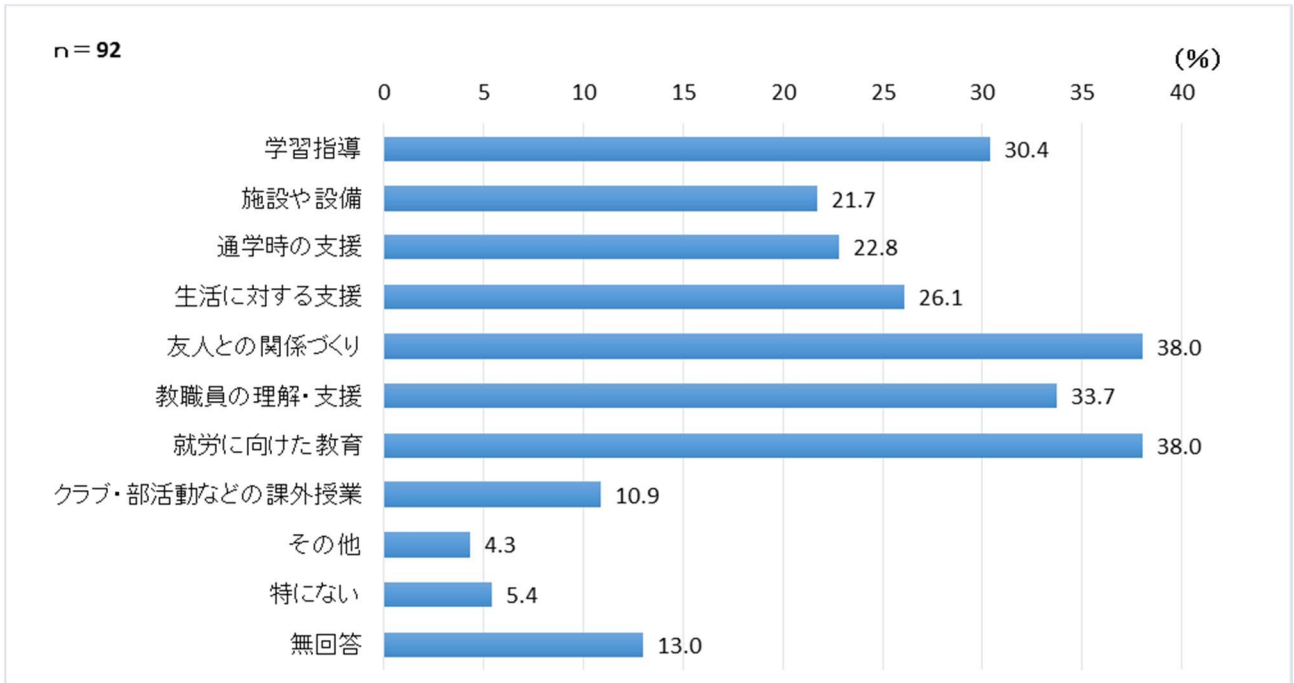
		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	会話やトイレなど日常生活に対する支援	26.1	15.0	31.4	0.0	36.4	50.0	0.0
2	学習に対する支援	37.0	30.0	41.2	28.6	27.3	50.0	100.0
3	友達など人とのかかわり方に対する支援	48.9	20.0	60.8	71.4	18.2	100.0	100.0
4	保護者への支援	28.3	25.0	25.5	42.9	27.3	50.0	100.0
5	療育を行う施設の増設	44.6	25.0	49.0	28.6	72.7	50.0	0.0
6	サービス利用に係る費用負担の軽減	25.0	20.0	21.6	42.9	27.3	50.0	100.0
7	送り迎えなど通園・通学に対するサービス	29.3	30.0	31.4	14.3	18.2	50.0	100.0
8	療育の内容や施設についての情報	29.3	30.0	29.4	28.6	27.3	50.0	0.0
9	特にない	5.4	5.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10	その他	3.3	0.0	2.0	0.0	18.2	0.0	0.0
11	支援やサービスは受けていない	9.8	20.0	7.8	14.3	0.0	0.0	0.0
12	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

○療育や支援で充実させるべき点については、全体で「友達など人とのかかわり方に対する支援」と答えた方の割合が48.9%と最も高く、次いで「療育を行う施設の増設」が44.6%となっています。

○障がいの種類別にみると、「身体障がい」では、「学習に対する支援」及び「送り迎えなど通園・通学に対するサービス」、「療育の内容や施設についての情報」と答えた方の割合が最も高く、「身体障がい・知的障がい」では、「療育を行う施設の増設」と答えた方の割合が最も高くなっています。

V 就学について

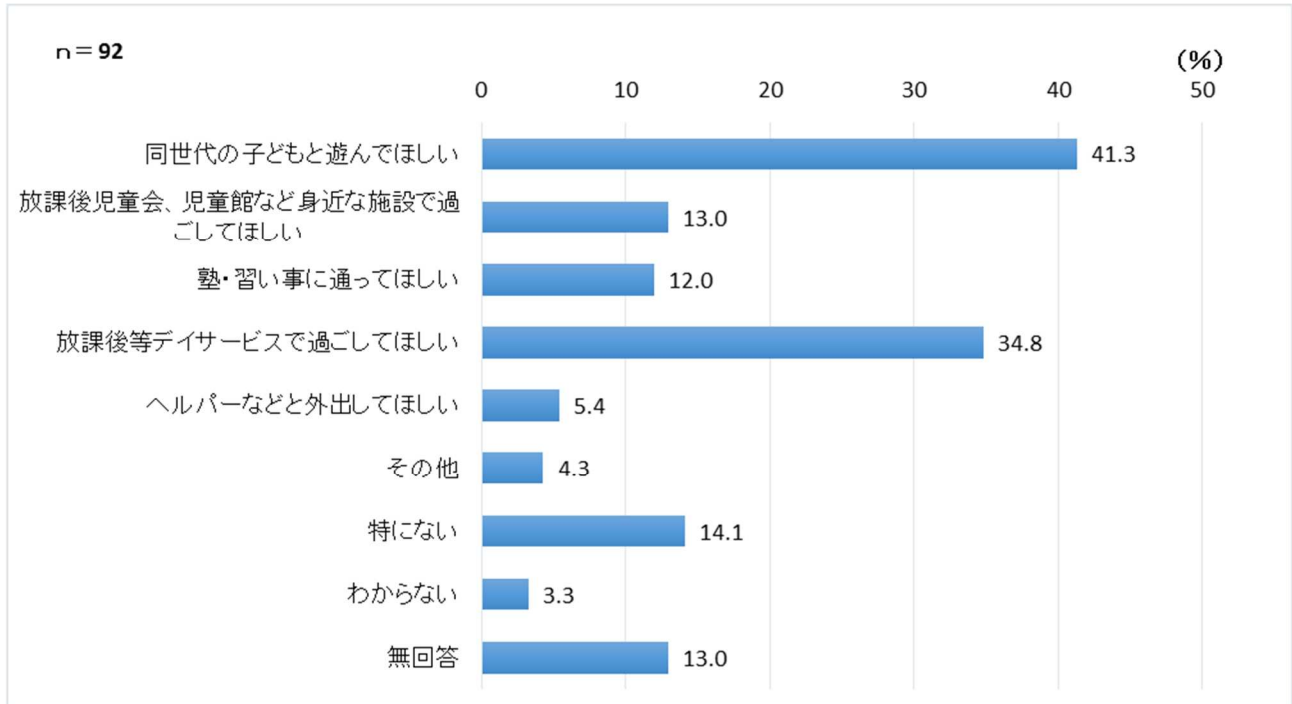
問10 就学しているお子さんについてお聞きします。お子さんが受けている教育や、学校生活について、さらに充実させるべきと思う点がありますか。(複数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	学習指導	30.4	25.0	35.3	28.6	27.3	0.0	0.0
2	施設や設備	21.7	10.0	25.5	0.0	36.4	0.0	100.0
3	通学時の支援	22.8	15.0	23.5	28.6	18.2	50.0	100.0
4	生活に対する支援	26.1	10.0	25.5	14.3	45.5	100.0	100.0
5	友人との関係づくり	38.0	15.0	47.1	57.1	9.1	100.0	100.0
6	教職員の理解・支援	33.7	20.0	35.3	57.1	45.5	0.0	0.0
7	就労に向けた教育	38.0	15.0	47.1	57.1	18.2	100.0	0.0
8	クラブ・部活動などの課外授業	10.9	10.0	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0
9	その他	4.3	10.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0
10	特にない	5.4	15.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0
11	無回答	13.0	25.0	7.8	14.3	18.2	0.0	0.0

- 教育や学校生活で充実させるべき点については、全体で「友人との関係づくり」及び「就労に向けた教育」と答えた方の割合が38.0%と最も高く、次いで「教職員の理解・支援」が30.4%となっています。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」では、「学習指導」と答えた方の割合が最も高く、「身体障がい・知的障がい」では、「生活に対する支援」及び「教職員の理解・支援」と答えた方の割合が最も高くなっています。また、「精神障がい」では、「友人との関係づくり」及び「教職員の理解・支援」、「就労に向けた教育」と答えた方の割合が最も高く、「知的障がい・精神障がい」では、「生活に対する支援」及び「友人との関係づくり」、「就労に向けた教育」と答えた方の割合が最も高くなっています。

問 1 1 就学しているお子さんについてお聞きします。お子さんは放課後や長期休業中など、学校以外の時間をどのように過ごしてほしいですか。(複数回答)



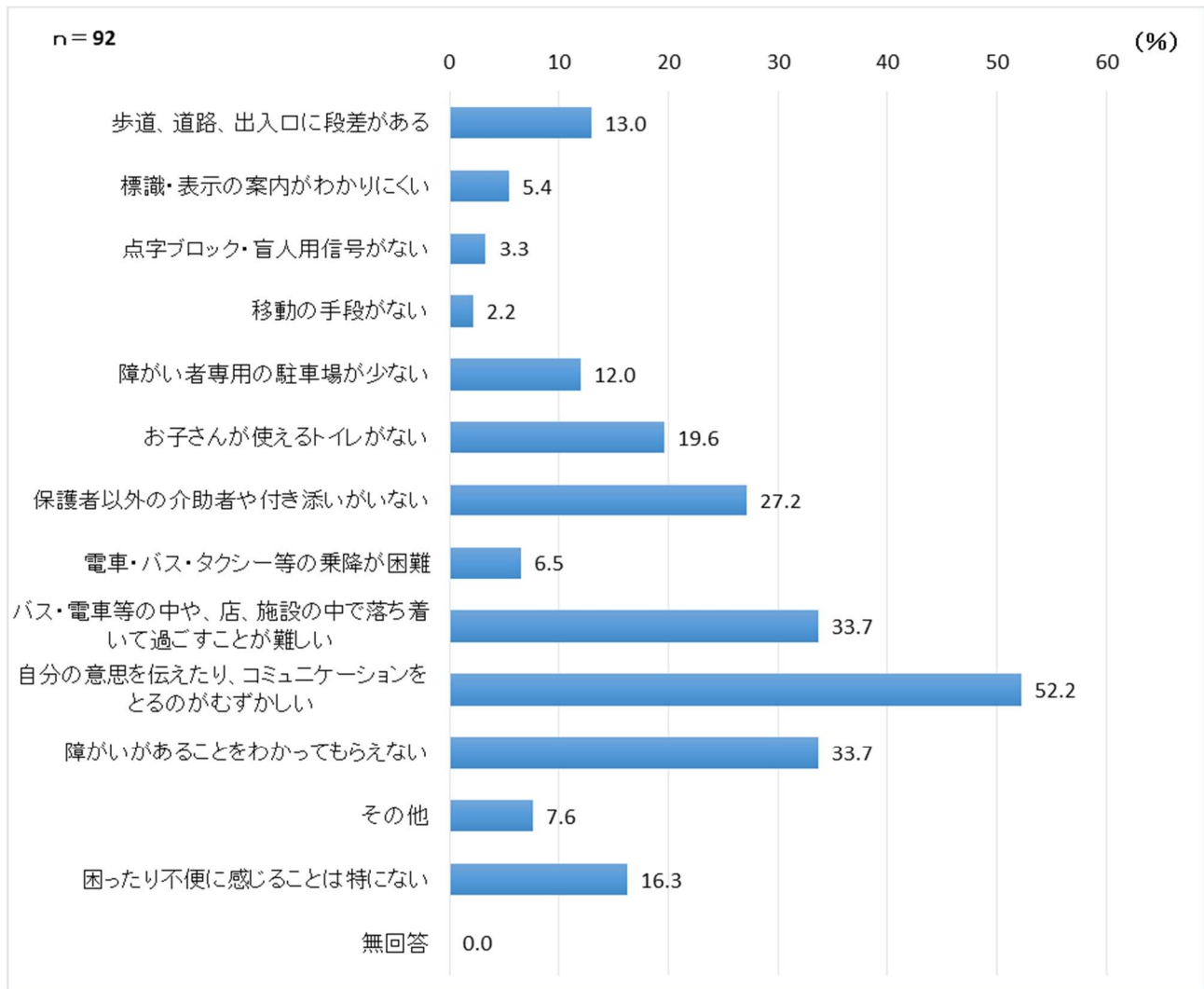
		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	同世代の子どもと遊んでほしい	41.3	35.0	39.2	85.7	27.3	50.0	100.0
2	放課後児童会、児童館など身近な施設で過ごしてほしい	13.0	0.0	17.6	28.6	9.1	0.0	0.0
3	塾・習い事に通ってほしい	12.0	5.0	17.6	0.0	0.0	0.0	100.0
4	放課後等デイサービスで過ごしてほしい	34.8	5.0	37.3	14.3	90.9	50.0	0.0
5	ヘルパーなどと外出してほしい	5.4	0.0	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0
6	その他	4.3	10.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0
7	特にない	14.1	25.0	15.7	0.0	0.0	0.0	0.0
8	わからない	3.3	0.0	3.9	0.0	0.0	50.0	0.0
9	無回答	13.0	25.0	9.8	14.3	9.1	0.0	0.0

○学校以外の時間をどのように過ごしてほしいかについては、全体で「同世代の子どもと遊んでほしい」と答えた方の割合が 41.3%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスで過ごしてほしい」が 34.8%となっています。

○障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「身体障がい・知的障がい」では、「放課後等デイサービスで過ごしてほしい」と答えた方の割合が最も高くなっています。

VI 外出について

問 1 2 お子さんと一緒に、またはお子さんが一人で外出するときに困ったり不便に感じたりすることは何ですか。(複数回答)

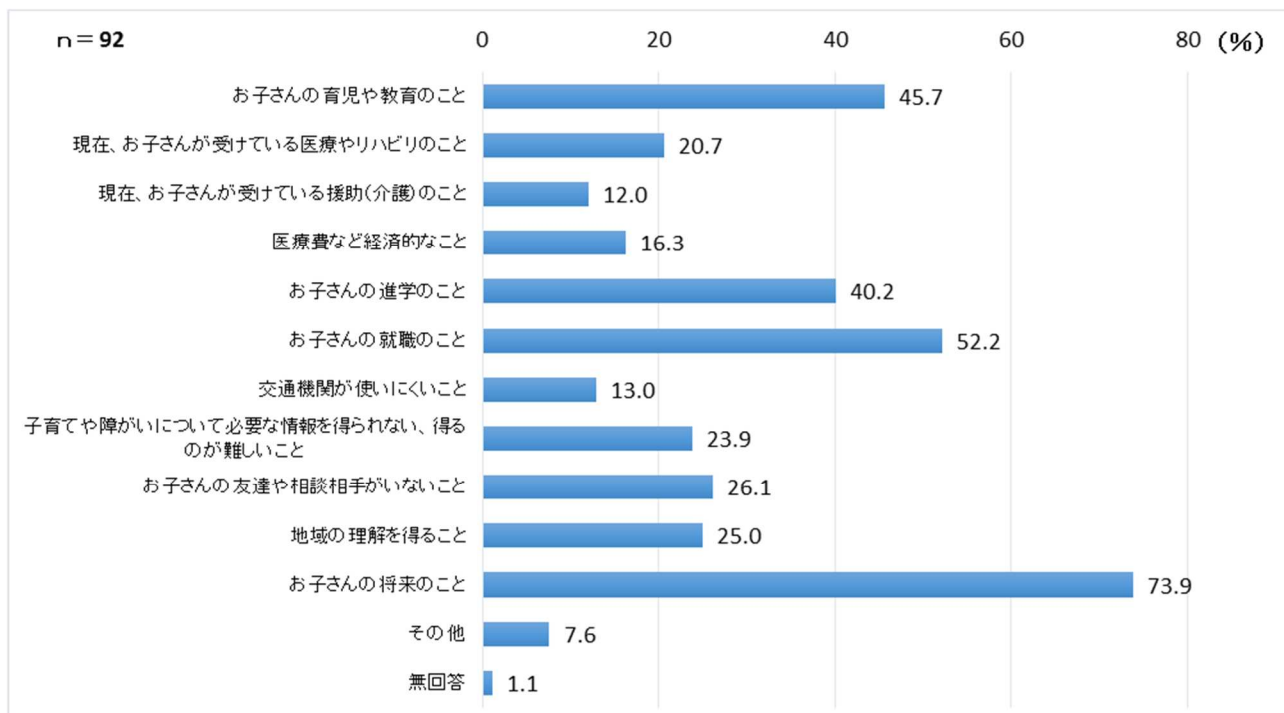


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	歩道、道路、出入口に段差がある	13.0	15.0	3.9	0.0	54.5	0.0	100.0
2	標識・表示の案内がわかりにくい	5.4	5.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0
3	点字ブロック・盲人用信号がない	3.3	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	移動の手段がない	2.2	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	100.0
5	障がい者専用の駐車場が少ない	12.0	15.0	2.0	0.0	54.5	0.0	100.0
6	お子さんが使えるトイレがない	19.6	30.0	5.9	0.0	81.8	0.0	0.0
7	保護者以外の介助者や付き添いがいない	27.2	15.0	31.4	0.0	36.4	50.0	100.0
8	電車・バス・タクシー等の乗降が困難	6.5	0.0	5.9	0.0	18.2	0.0	100.0
9	バス・電車等の中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい	33.7	25.0	37.3	42.9	36.4	0.0	0.0
10	自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとるのがむずかしい	52.2	20.0	66.7	57.1	54.5	0.0	0.0
11	障がいがあることをわかってもらえない	33.7	20.0	43.1	57.1	9.1	0.0	0.0
12	その他	7.6	15.0	3.9	0.0	9.1	50.0	0.0
13	困ったり不便に感じることは特にない	16.3	30.0	11.8	28.6	0.0	50.0	0.0
14	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 外出時に困ったり不便に感じたりすることについては、全体で「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとるのがむずかしい」と答えた方の割合が52.2%と最も高く、次いで「バス・電車等の中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい」及び「障がいがあることをわかってもらえない」が33.7%となっています。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」及び「身体障がい・知的障がい」では、「お子さんが使えるトイレがない」と答えた方の割合が最も高くなっています。また、「精神障がい」では、「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとるのがむずかしい」及び「障がいがあることをわかってもらえない」と答えた方の割合が最も高くなっています。

Ⅶ 悩みごとについて

問 1 3 お子さんのことで悩みごとや困ったことがありますか。(複数回答)

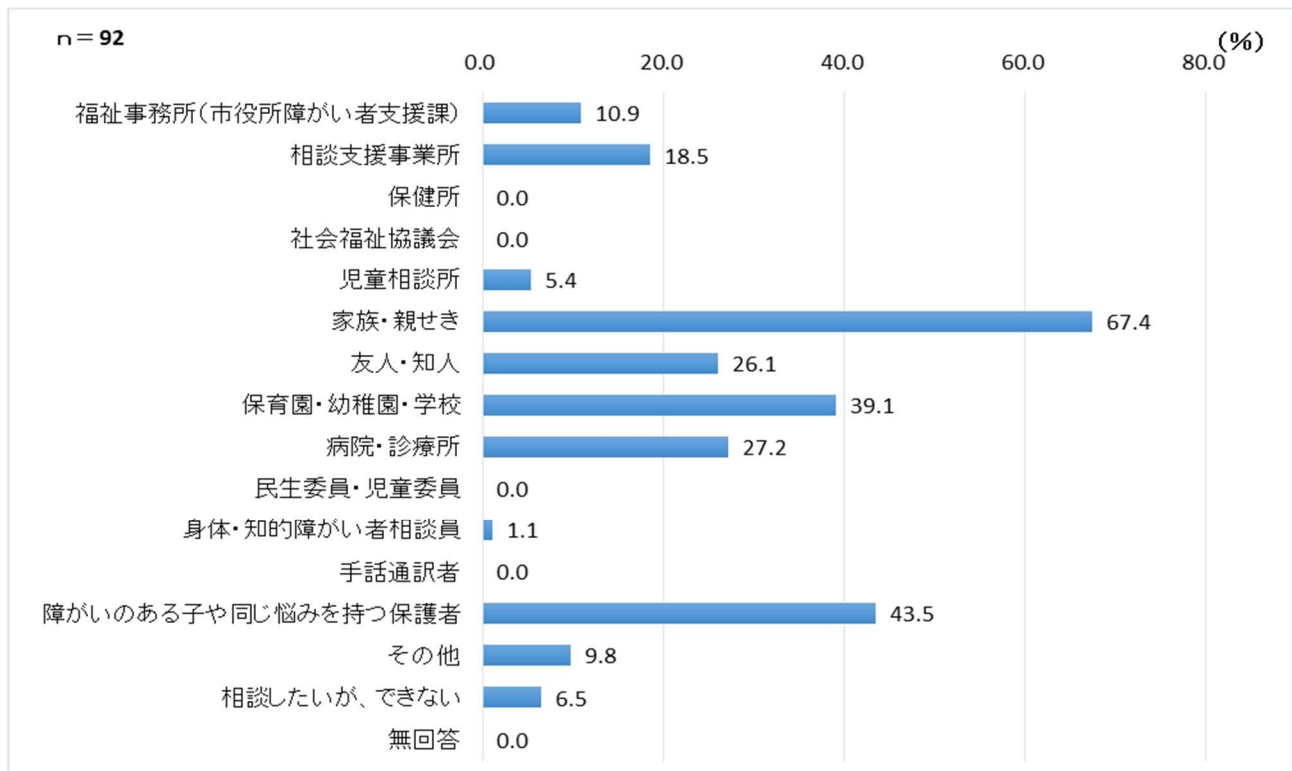


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	お子さんの育児や教育のこと	45.7	50.0	45.1	57.1	27.3	50.0	100.0
2	現在、お子さんが受けている医療やリハビリのこと	20.7	35.0	7.8	28.6	54.5	0.0	0.0
3	現在、お子さんが受けている援助(介護)のこと	12.0	5.0	13.7	0.0	18.2	50.0	0.0
4	医療費など経済的なこと	16.3	25.0	15.7	0.0	9.1	0.0	100.0
5	お子さんの進学のこと	40.2	20.0	47.1	71.4	27.3	0.0	100.0
6	お子さんの就職のこと	52.2	35.0	62.7	57.1	18.2	100.0	100.0
7	交通機関が使いにくいこと	13.0	5.0	17.6	0.0	18.2	0.0	0.0
8	子育てや障がいについて必要な情報を得られない、得るのが難しいこと	23.9	20.0	27.5	0.0	27.3	50.0	0.0
9	お子さんの友達や相談相手がいないこと	26.1	10.0	33.3	28.6	9.1	100.0	0.0
10	地域の理解を得ること	25.0	10.0	35.3	28.6	9.1	0.0	0.0
11	お子さんの将来のこと	73.9	60.0	78.4	85.7	72.7	50.0	100.0
12	その他	7.6	15.0	3.9	0.0	9.1	50.0	0.0
13	無回答	1.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0

- 悩みごとや困ったことについては、全体で「お子さんの将来のこと」と答えた方の割合が73.9%と最も高く、次いで「お子さんの就職のこと」が52.2%、「お子さんの育児や教育のこと」が45.7%となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「精神障がい」では、「お子さんの将来のこと」に次いで、「お子さんの進学のこと」と答えた方の割合が高く、「身体障がい・知的障がい」では、「お子さんの将来のこと」に次いで、「現在、お子さんが受けている医療やリハビリのこと」と答えた方の割合が高くなっています。また、「知的障がい・精神障がい」では、「お子さんの就職のこと」及び「お子さんの友達や相談相手がいないこと」と答えた方の割合が最も高くなっています。

障がいのあるお子さんの保護者用

問14 お子さんのことで悩んでいることや困っていることについて、相談するのは誰ですか。(複数回答)

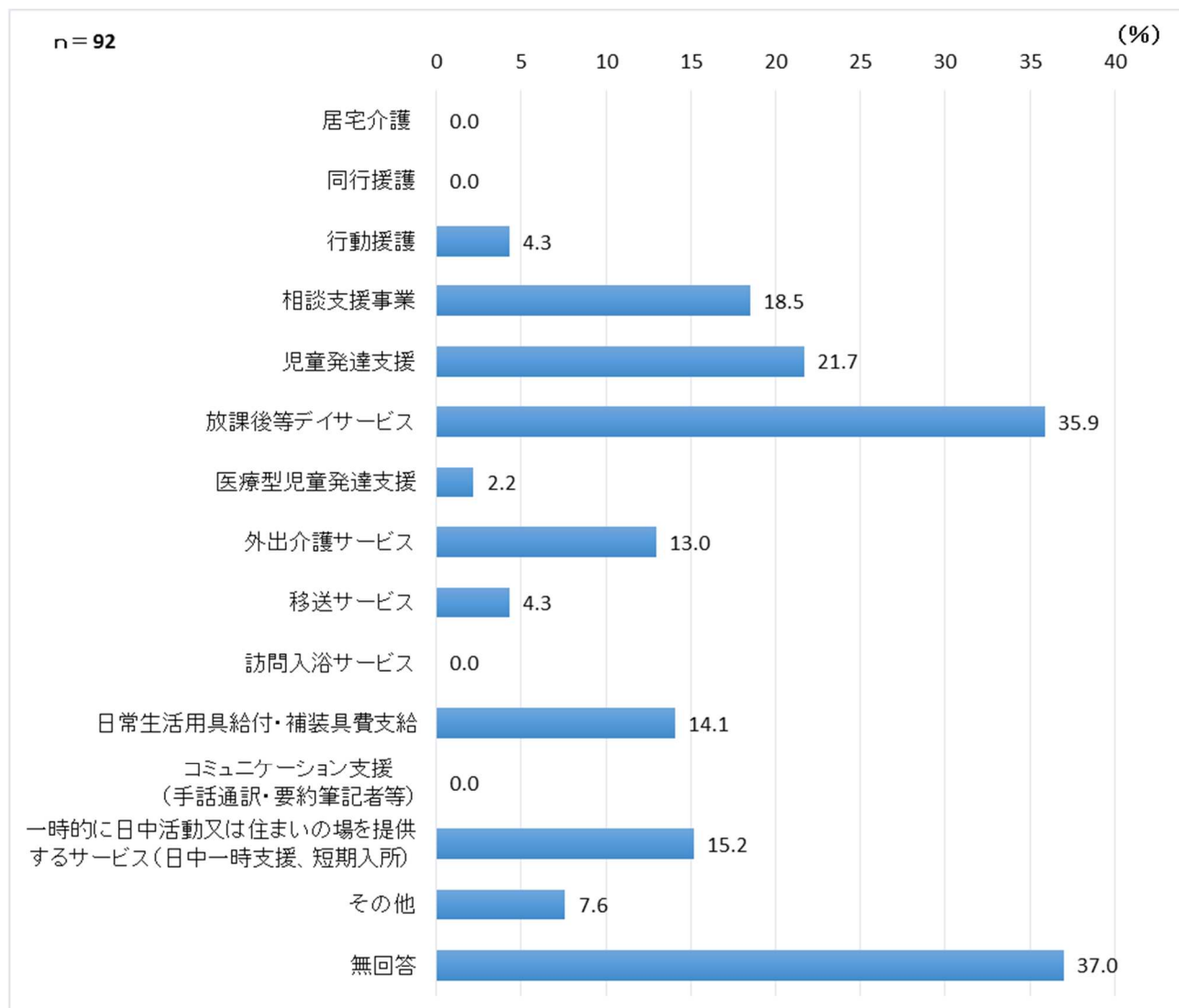


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	福祉事務所(市役所障がい者支援課)	10.9	20.0	7.8	0.0	18.2	0.0	0.0
2	相談支援事業所	18.5	5.0	23.5	14.3	18.2	50.0	0.0
3	保健所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	社会福祉協議会	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	児童相談所	5.4	5.0	3.9	14.3	0.0	50.0	0.0
6	家族・親せき	67.4	90.0	62.7	42.9	63.6	50.0	100.0
7	友人・知人	26.1	30.0	21.6	42.9	36.4	0.0	0.0
8	保育園・幼稚園・学校	39.1	40.0	39.2	28.6	45.5	50.0	0.0
9	病院・診療所	27.2	35.0	17.6	42.9	45.5	50.0	0.0
10	民生委員・児童委員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11	身体・知的障がい者相談員	1.1	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12	手話通訳者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13	障がいのある子や同じ悩みを持つ保護者	43.5	25.0	47.1	42.9	54.5	100.0	0.0
14	その他	9.8	10.0	11.8	0.0	9.1	0.0	0.0
15	相談したいが、できない	6.5	0.0	7.8	14.3	0.0	0.0	100.0
16	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 相談相手については、全体で「家族・親せき」と答えた方の割合が67.4%と最も高く、次いで「障がいのある子や同じ悩みを持つ保護者」が43.5%となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「精神障がい」では、「家族・親せき」及び「友人・知人」、「病院・診療所」、「障がいのある子や同じ悩みを持つ保護者」と答えた方の割合が最も高くなっています。

Ⅷ 福祉サービスについて

問 1 5 以下の福祉サービスを利用していますか（したことはありますか）。（複数回答）

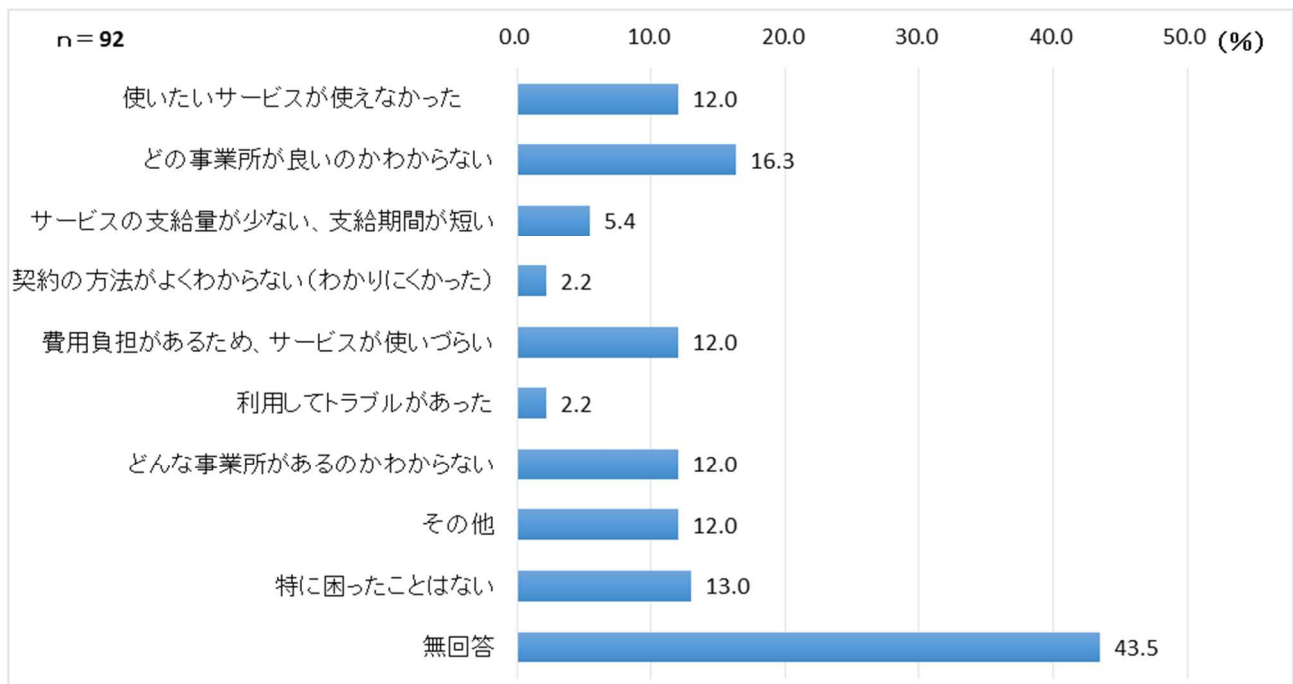


		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	居宅介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	同行援護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	行動援護	4.3	0.0	5.9	14.3	0.0	0.0	0.0
4	相談支援事業	18.5	10.0	15.7	0.0	54.5	50.0	0.0
5	児童発達支援	21.7	15.0	27.5	14.3	18.2	0.0	0.0
6	放課後等デイサービス	35.9	5.0	39.2	28.6	81.8	50.0	0.0
7	医療型児童発達支援	2.2	5.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
8	外出介護サービス	13.0	0.0	17.6	14.3	9.1	50.0	0.0
9	移送サービス	4.3	0.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10	訪問入浴サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11	日常生活用具給付・補装具費支給	14.1	25.0	0.0	0.0	72.7	0.0	0.0
12	コミュニケーション支援 (手話通訳・要約筆記者等)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13	一時的に日中活動又は住まいの場を提供するサービス (日中一時支援、短期入所)	15.2	0.0	13.7	0.0	63.6	0.0	0.0
14	その他	7.6	10.0	7.8	14.3	0.0	0.0	0.0
15	無回答	37.0	60.0	33.3	42.9	0.0	50.0	100.0

- 福祉サービスを利用しているかについては、全体で「放課後等デイサービス」と答えた方の割合が35.9%と最も高く、次いで「児童発達支援」が21.7%となっています。
- 障がいの種類別においても「全体」と同様の傾向がみられますが、「身体障がい」では、「日常生活用具給付・補装具費支給」と答えた方の割合が最も高くなっています。

障がいのあるお子さんの保護者用

問16 福祉サービスを利用しているお子さんについてお聞きします。福祉サービスを利用するときには何か困ったことはありますか。(複数回答)



		全体	身体	知的	精神	身体・知的	知的・精神	無回答
0	n (人)	92	20	51	7	11	2	1
1	使いたいサービスが使えなかった	12.0	5.0	15.7	14.3	9.1	0.0	0.0
2	どの事業所が良いのかわからない	16.3	5.0	21.6	14.3	9.1	50.0	0.0
3	サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	5.4	10.0	3.9	14.3	0.0	0.0	0.0
4	契約の方法がよくわからない(わかりにくかった)	2.2	0.0	2.0	0.0	0.0	50.0	0.0
5	費用負担があるため、サービスが使いづらい	12.0	5.0	11.8	14.3	18.2	50.0	0.0
6	利用してトラブルがあった	2.2	0.0	2.0	14.3	0.0	0.0	0.0
7	どんな事業所があるのかわからない	12.0	15.0	13.7	0.0	0.0	50.0	0.0
8	その他	12.0	5.0	11.8	0.0	36.4	0.0	0.0
9	特に困ったことはない	13.0	5.0	13.7	14.3	27.3	0.0	0.0
10	無回答	43.5	65.0	39.2	57.1	9.1	50.0	100.0

- 福祉サービスを利用するときに困ったことについては、全体で「どの事業所が良いのかわからない」と答えた方の割合が16.3%と最も高く、次いで「特に困ったことはない」が13.0%となっています。
- 障がいの種類別にみると、「身体障がい」では、「どんな事業所があるのかわからない」と答えた方の割合が最も高くなっています。

IX その他

問17 その他、意見や要望、提案などありましたら、お書きください。

※ 省略